

「若者の社会動態に関する意識調査」
調査結果報告書
(速報)

平成 27 年 7 月

目次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査概要	1
2-1 高校生調査	1
2-2 大学生調査	1
2-3 県出身者調査	1
3 報告書をみる際の注意点	1
II 調査結果	2
1 高校生調査	2
○属性	2
○問6 卒業後の進路希望	5
○問7 進学を希望する地域	5
○問8 広島県内を希望する理由	6
○問9 広島県外を希望する理由	7
○問10 志望校を検討する際に重視すること	7
○問11 就職を希望する地域	8
○問12 広島県内を希望する理由	9
○問13 広島県外を希望する理由	9
○問14 希望する業種や職種	10
○問15 就職先を検討する際に重視すること	10
○問16 進路の検討開始時期	11
○問17 進路の決定時期	11
○問18 進路について相談する相手	12
○問19 職業観	12
○問20 広島に暮らし続けたいと考える方への支援	13
2 大学生調査	14
○属性	14
○問7 出身県への進学希望の有無	18
○問8 「出身県」を希望していた理由	18
○問9 進学を希望していた地域	19
○問10 「出身県以外」を希望していた理由	20
○問11 併願していた他大学の所在地域	21
○問12 志望校を検討する際に重視したこと	22
○問13 就職を希望する地域	23
○問14 広島県内を希望する理由	25
○問15 広島県外を希望する理由	26
○問16 希望する業種や職種	27
○問17 就職先を検討する際に重視すること	27
○問18 就職先の検討開始時期	28
○問19 就職先について相談する相手	28
○問20 あなたの職業観	29
○問21 広島に魅力を感じるどころ	30
○問22 広島に暮らし続けたいと考える方への支援	30

3 県出身者調査	31
○属性	31
○問8 東京圏・大阪圏で暮し始めたきっかけ	34
○問9 当時、進学を希望していた地域	35
○問10 広島県内が希望だったが、結果として県外へ進学した理由	35
○問11 志望校を検討する際に重視したこと	36
○問12 当時、就職を希望していた地域	37
○問13 広島県内が希望だったが、結果として県外へ就職した理由	37
○問14 希望していた業種や職種	38
○問15 就職先を検討した際に重視したこと	38
○問16 職業観	39
○問17 広島で暮らし続けたいと考える高校生や大学生に、あれば良い行政からの支援	39
○問18 広島県への移住の検討状況	40
○問19 今後、移住を検討するきっかけ	40
○問20 東京圏・大阪圏からの移住を考える上で重視する点	41
○問21 東京圏・大阪圏からの移住を検討する上での、困りごと	41
○問22 不十分だと考える情報	42
○問23 移住する予定がない理由	42
○問24 広島県へのU・Iターン移住を考える方に対してあれば良い行政からの支援	43
Ⅲ 調査票	44
1 高校生調査	44
2 大学生調査	48
3 県出身者調査	52

I 調査概要

1 調査目的

本県からの転出超過の大きな要因となっている県内在住の高校生、大学生及び県内への転入が期待される東京圏・大阪圏在住の若者世代を対象とした意識調査を実施することで、その定住・移住志向や行動傾向を把握し、広島県版人口ビジョンの考え方や総合戦略等の検討に生かす。

2 調査概要

2-1 高校生調査

- ・調査地域 広島県全域
- ・調査対象 県内高等学校に在籍する生徒
- ・回収数 1,478人（男性 827人，女性 643人，無回答 8人）
- ・調査方法 学校配布学校回収

2-2 大学生調査

- ・調査地域 広島県全域
- ・調査対象 県内大学・県内短期大学に在籍する学生
- ・回収数 1,864人（男性 711人，女性 1,142人，無回答 11人）
- ・調査方法 学校配布学校回収とWEB調査併用

2-3 県出身者調査

- ・調査地域 東京圏（埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県），大阪圏（京都府，大阪府，兵庫県）
- ・調査対象 広島県出身であり，現在は東京圏または大阪圏に居住している15～34歳男女
- ・回収数 844人（東京圏 566人，大阪圏 278人）（男性 489人，女性 355人，無回答 0人）
- ・調査方法 WEB調査

3 報告書を見る際の注意点

- （1）本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため，全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- （2）複数の回答を求めた質問では，回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- （3）報告書中の図表では，表記の都合上，回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- （4）報告書中の図表について，複数回答の設問については，その設問に回答する資格を有する者の数を「全体n=（ ）」で示している。

Ⅱ 調査結果

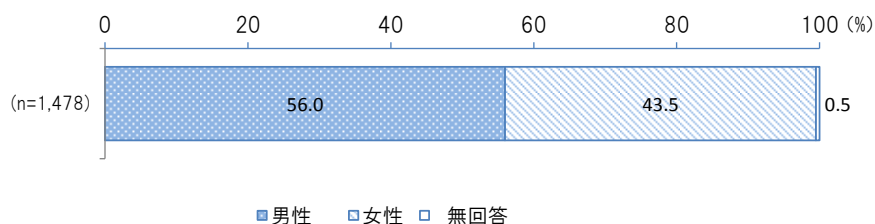
1 高校生調査

《あなた自身のことについて》

○属性

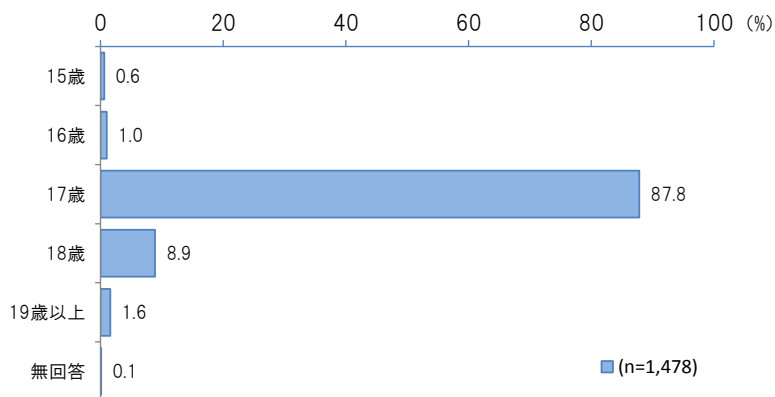
<性別>

「男性」と回答した割合が56.0%、「女性」と回答した割合が43.5%となっている。



<年齢>

「17歳」と回答した割合が87.8%と最も高く、次いで「18歳」(8.9%)、「19歳以上」(1.6%)となっている。



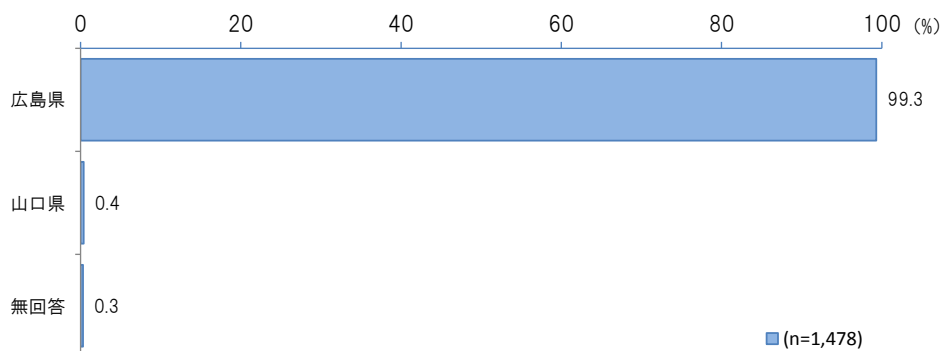
<出身地>

「広島県」と回答した割合が89.6%と最も高く、次いで「山口県」(1.5%)、「兵庫県」(0.9%)となっている。

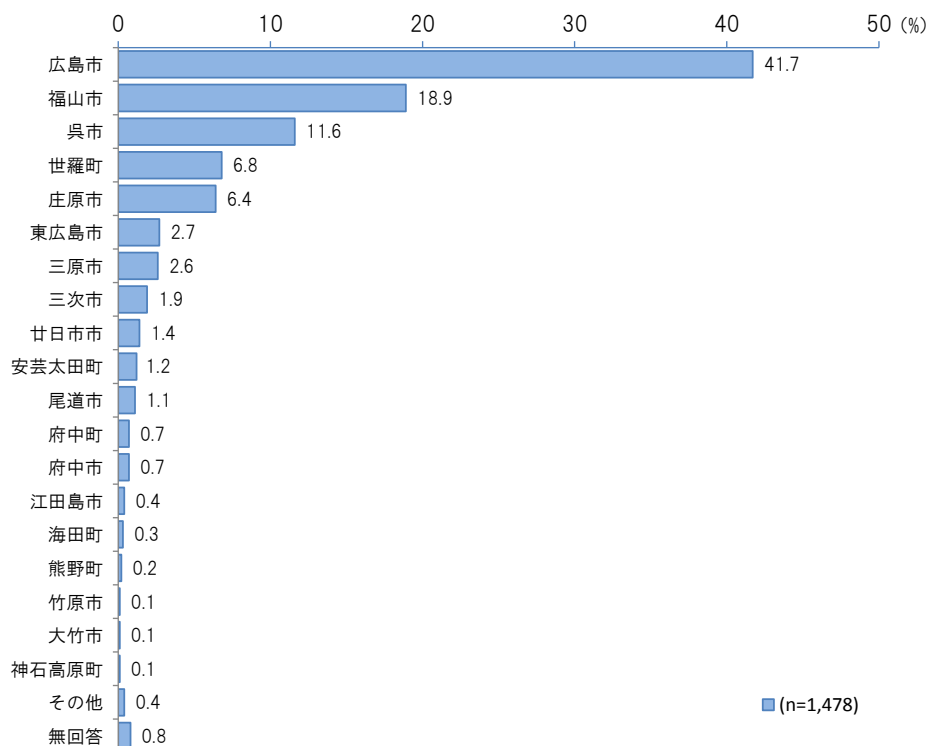
	人数 (人)	割合 (%)
広島県	1,325	89.6
山口県	22	1.5
兵庫県	14	0.9
東京都, 岡山県	13	0.9
大阪府, 福岡県	12	0.8
島根県	7	0.5
愛媛県	5	0.3
茨城県, 鳥取県	4	0.3
埼玉県, 愛知県, 香川県, 長崎県, 海外	3	0.2
北海道, 青森県, 千葉県, 神奈川県, 静岡県, 三重県, 京都府, 大分県, 鹿児島県	2	0.1
岩手県, 宮城県, 栃木県, 群馬県, 福井県, 岐阜県, 奈良県, 高知県, 宮崎県	1	0.1
無回答	5	0.3

<現住地>

「広島県」と回答した割合が99.3%と最も高く、次いで「山口県」(0.4%)となっている。

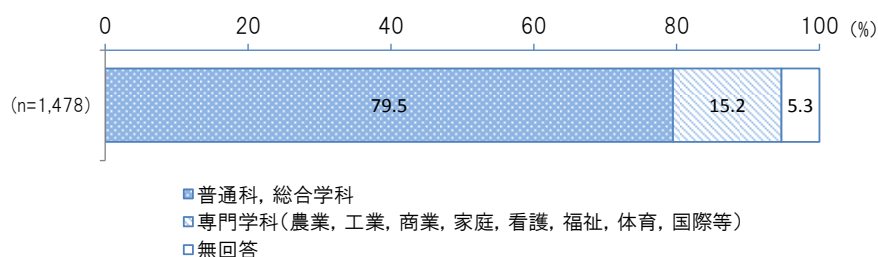


市町別にみると「広島市」と回答した割合が41.7%と最も高く、次いで「福山市」(18.9%)、「呉市」(11.6%)となっている。



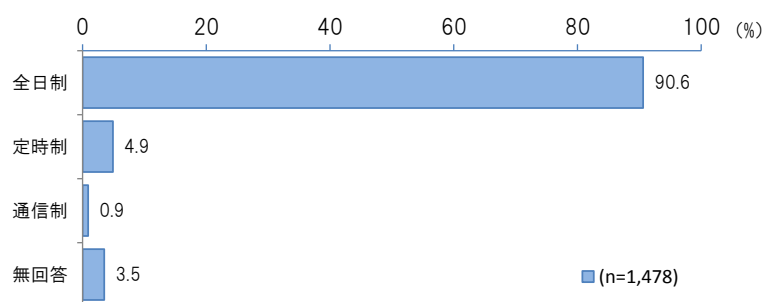
<学科>

「普通科，総合学科」と回答した割合が79.5%と最も高く、次いで「専門学科（農業，工業，商業，家庭，看護，福祉，体育，国際等）」(15.2%)となっている。



<課程>

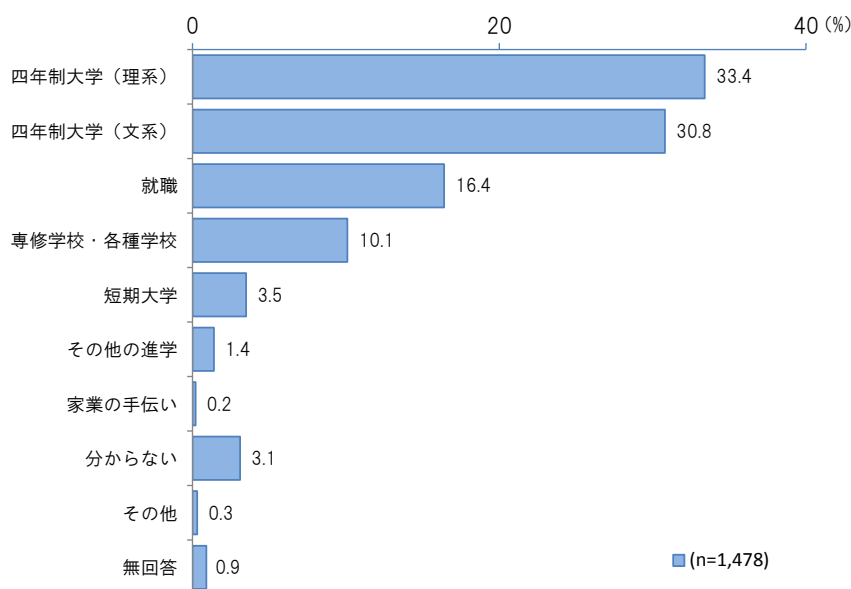
「全日制」と回答した割合が90.6%と最も高く、次いで「定時制」(4.9%)、「通信制」(0.9%)となっている。



《卒業後の進路について》

○問6 卒業後の進路希望（最も希望するものを1つ選択）

「四年制大学（理系）」と回答した割合が33.4%と最も高く、次いで「四年制大学（文系）」（30.8%）、「就職」（16.4%）となっている。

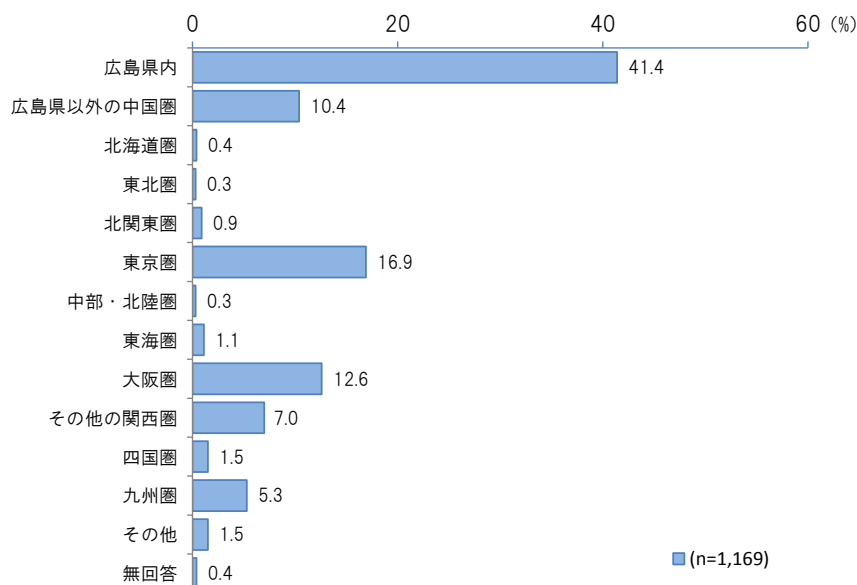


《進学を希望する方》

○問7 進学を希望する地域（最も希望する地域を1つ選択）

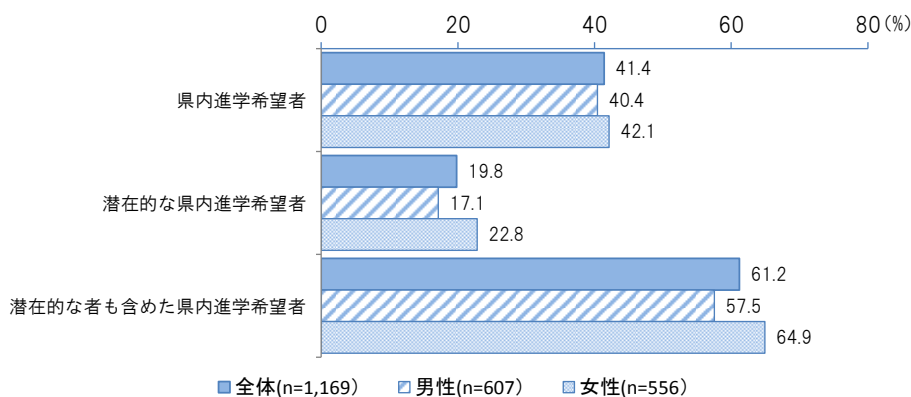
※問6で「四年制大学（文系）」「四年生大学（理系）」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他の進学」と回答した人

「広島県内」と回答した割合が41.4%と最も高く、次いで「東京圏」（16.9%）、「大阪圏」（12.6%）となっている。



<定住志向のある者を考慮した場合>

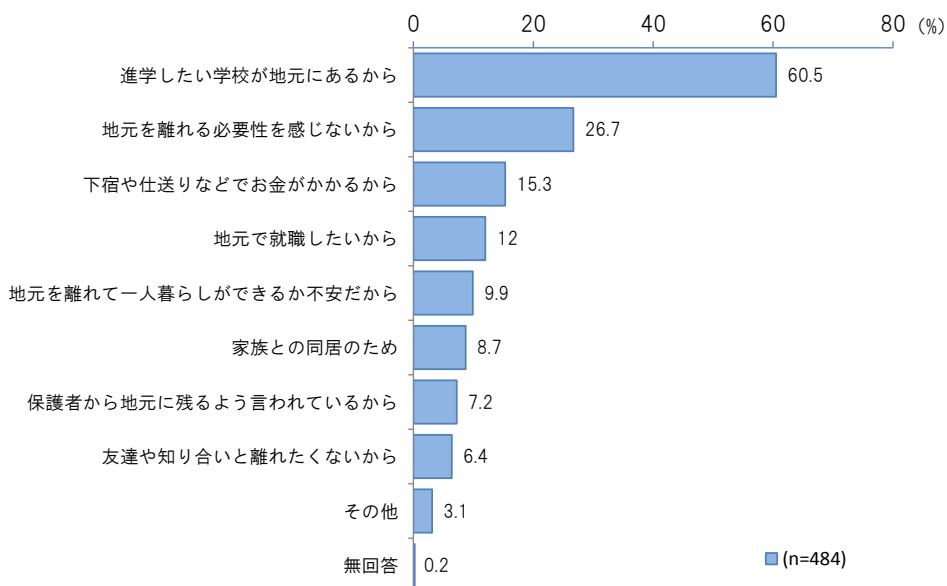
進学したい学校や学部・学科が県内にあれば県内に進学する可能性が高い層を「潜在的な県内進学希望者」とした場合、潜在的な者も含めた県内進学希望者は61.2%であり、男性57.5%、女性64.9%である。



○問8 広島県内を希望する理由（複数選択可）

※問7で「広島県内」と回答した人

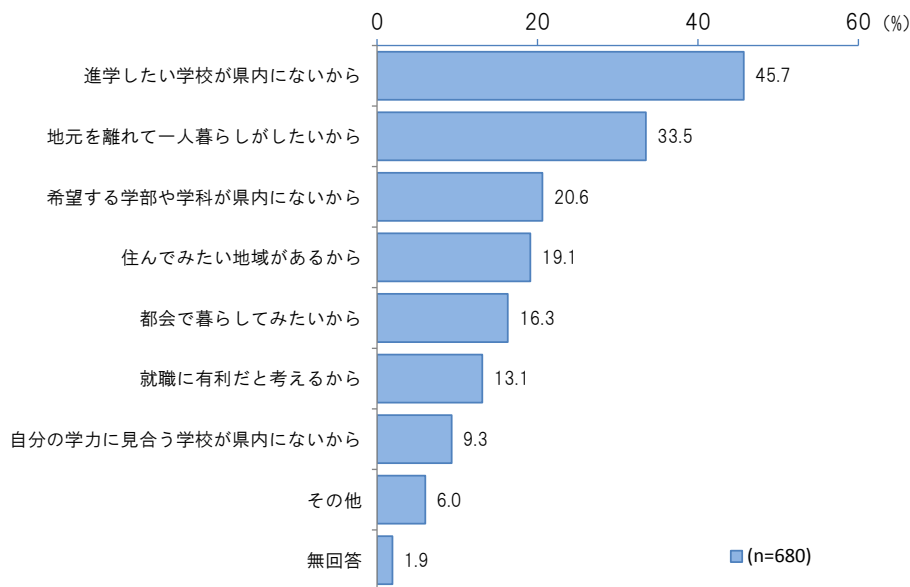
「進学したい学校が地元にあるから」と回答した割合が60.5%と最も高く、次いで「地元を離れるの必要性を感じないから」（26.7%）、「下宿や仕送りなどでお金がかかるから」（15.3%）となっている。



○問9 広島県外を希望する理由（複数選択可）

※問7で「広島県内」以外と回答した人

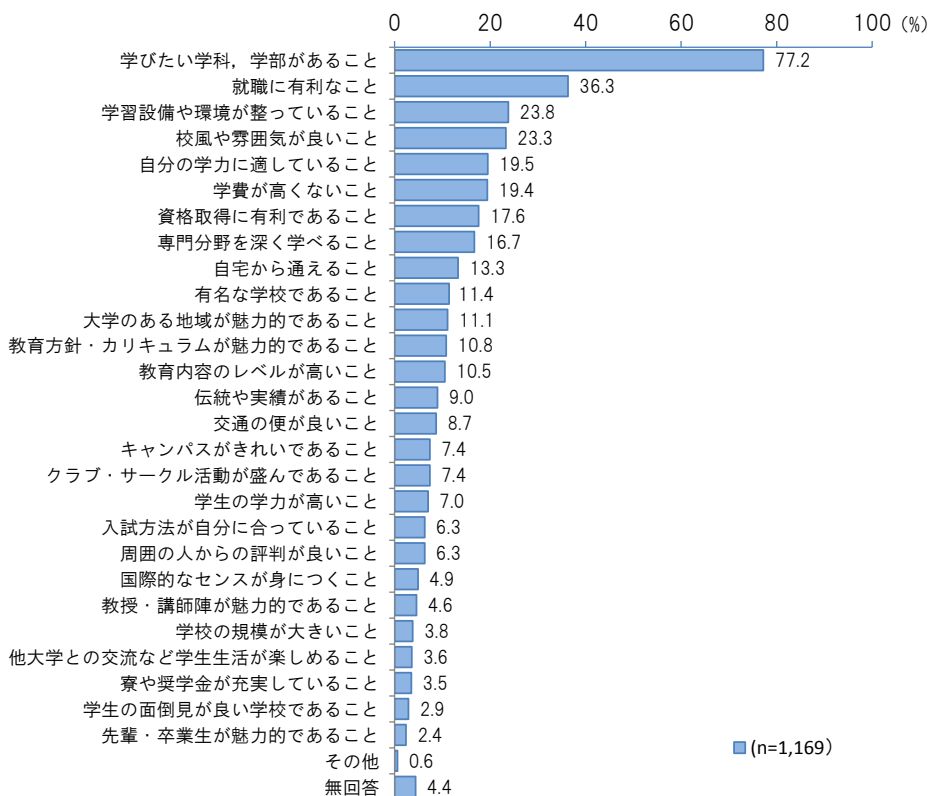
「進学したい学校が県内にないから」と回答した割合が45.7%と最も高く、次いで「地元を離れて一人暮らしがしたいから」(33.5%)、「希望する学部や学科が県内にないから」(20.6%)となっている。



○問10 志望校を検討する際に重視すること（最大5つまで選択可）

※問6で「四年制大学（文系）」「四年制大学（理系）」「短期大学」「専修大学・各種学校」「その他の進学」と回答した人

「学びたい学科，学部があること」と回答した割合が77.2%と最も高く、次いで「就職に有利なこと」(36.3%)、「学習設備や環境が整っていること」(23.8%)となっている。

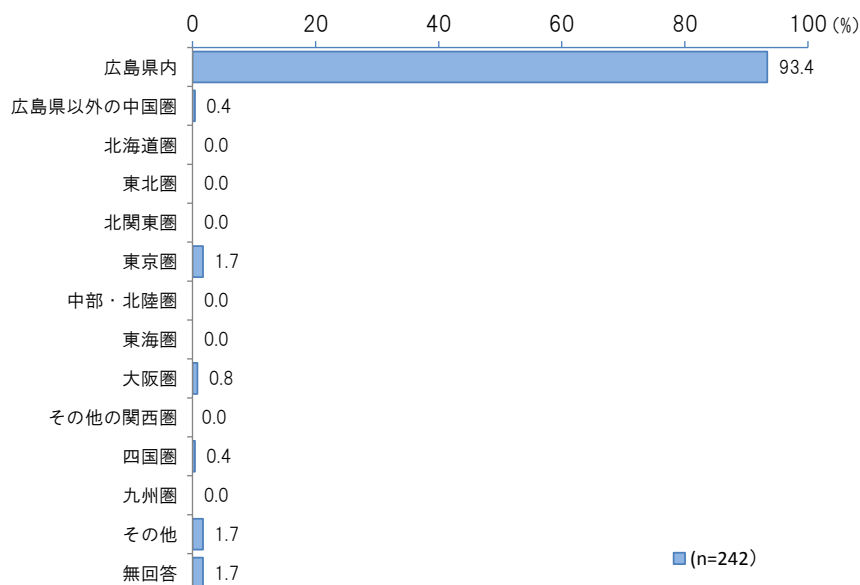


《就職を希望する方》

○問 11 就職を希望する地域（最も希望する地域を1つ選択）

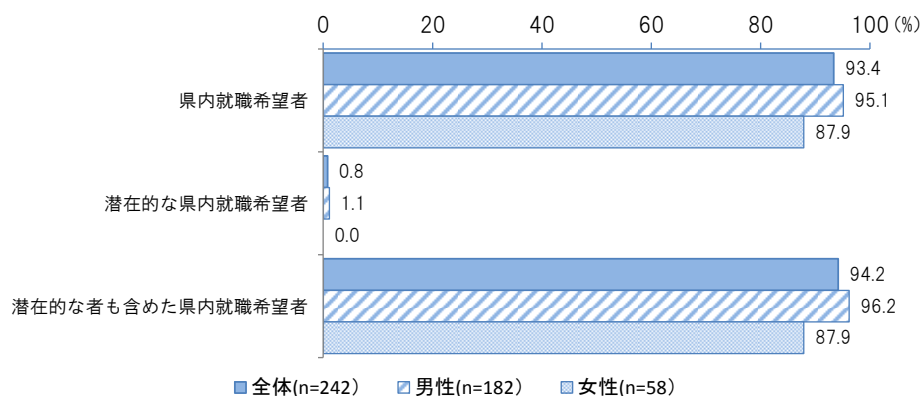
※問6で「就職」と回答した人

「広島県内」と回答した割合が93.4%と最も高く、次いで「東京圏」、「その他」（ともに1.7%）となっている。



<定住志向のある者を考慮した場合>

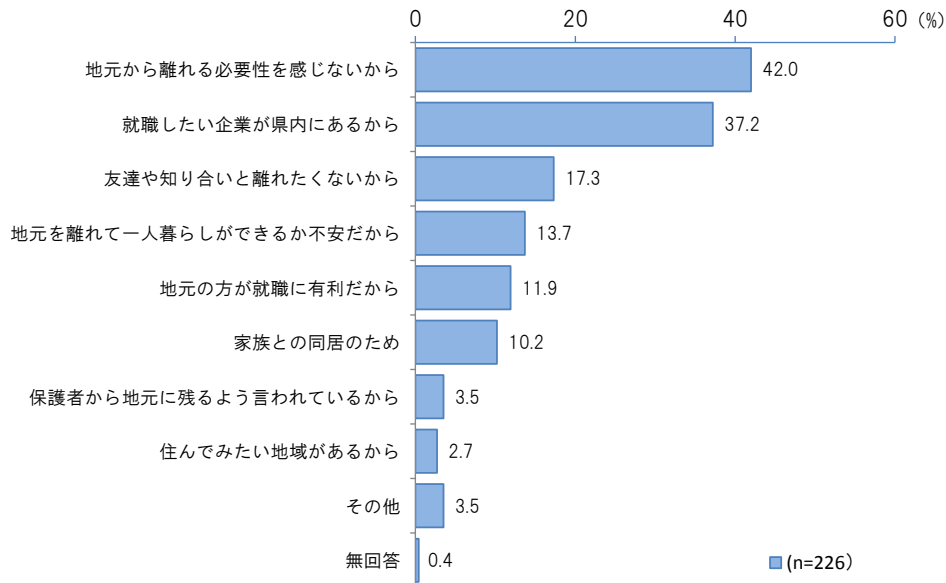
就職したい企業がある等すれば県内に就職する可能性が高い層を「潜在的な県内就職希望者」とした場合、潜在的な者も含めた県内就職希望者は94.2%であり、男性96.2%、女性87.9%である。



○問 12 広島県内を希望する理由（複数選択可）

※問 11 で「広島県内」と回答した人

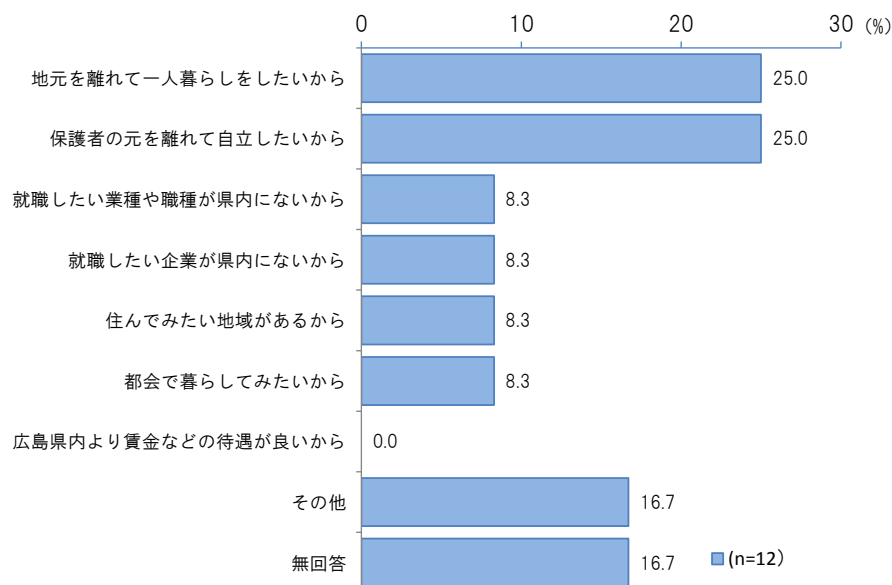
「地元から離れる必要性を感じないから」と回答した割合が 42.0%と最も高く、次いで「就職したい企業が県内にあるから」(37.2%)、「友達や知り合いと離れたくないから」(17.3%)となっている。



○問 13 広島県外を希望する理由（複数選択可）

※問 11 で「広島県内」以外と回答した人

「地元を離れて一人暮らしをしたいから」、「保護者の元を離れて自立したいから」と回答した割合がともに 25.0%と最も高く、次いで「就職したい業種や職種が県内にないから」、「就職したい企業が県内にないから」、「住んでみたい地域があるから」、「都会で暮らしてみたいから」(すべて 8.3%)となっている。



○問 14 希望する業種や職種（自由記入）

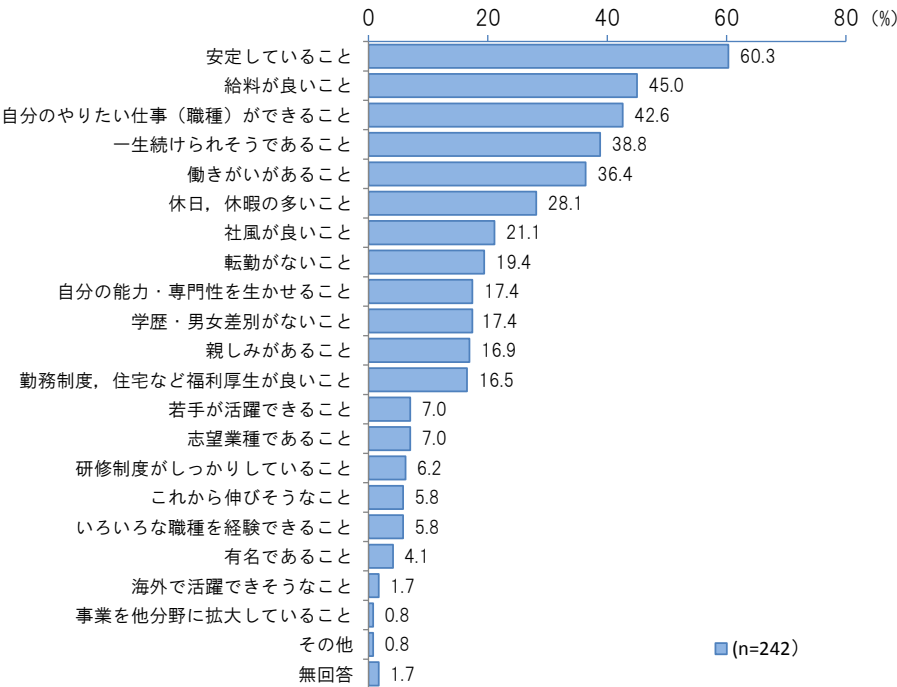
希望する業種や職種について、「医者・歯医者」「教員」「公務員」の回答が多くなっている。

	人数 (人)
●医者・歯医者 ●教員	各 5
●公務員 ●色々挑戦したい	各 3
●研究職（開発，研究） ●国際的な仕事	各 2
●アナウンサー ●アパレル・ファッション関係 ●アロマセラピスト ●エンジニア ●ヘアメイクアーティスト ●ボクサー ●プログラマー ●ミュージシャン ●演劇関係 ●学者，官僚 ●管理栄養士 ●韓国の通訳者 ●救命救急士 ●航空関係 ●裁判官 ●事務系 ●車の製造業 ●車の模型を作る仕事 ●重工業系 ●商業 ●整備士 ●声優・舞台芸能 ●製造業 ●総合医療 ●幼稚園教諭 ●養護教諭 ●安定した仕事 ●母の仕事場	各 1

○問 15 就職先を検討する際に重視すること（複数選択可）

※問6で「就職」と回答した人

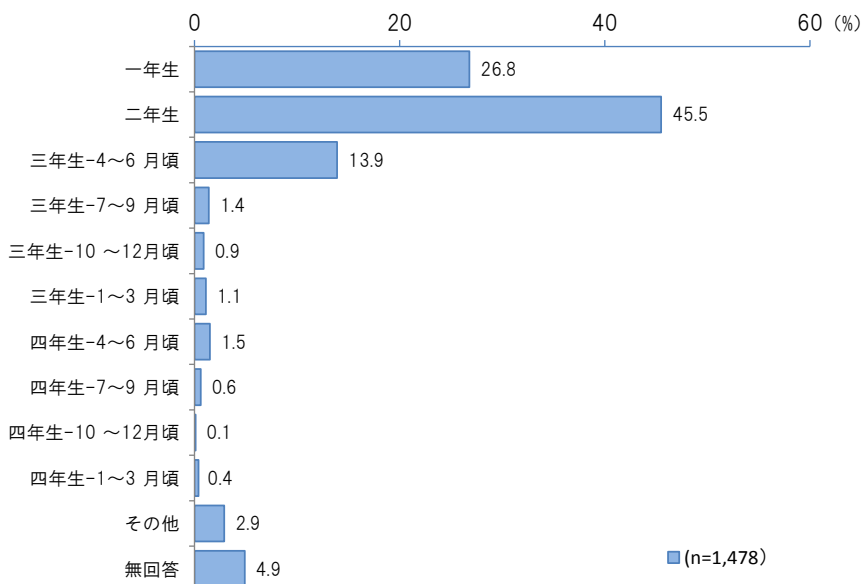
「安定していること」と回答した割合が 60.3%と最も高く，次いで「給料が良いこと」(45.0%)，「自分のやりたい仕事（職種）ができること」(42.6%)となっている。



《すべての方》

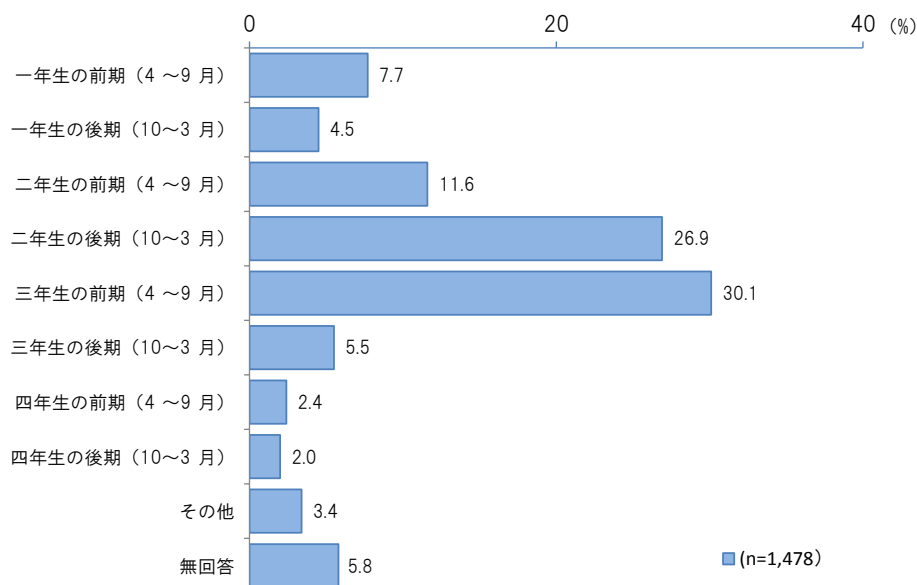
○問 16 進路の検討開始時期（最も近いと思うものを1つ選択）

「二年生」と回答した割合が45.5%と最も高く、次いで「一年生」(26.8%),「三年生-4~6月頃」(13.9%)となっている。



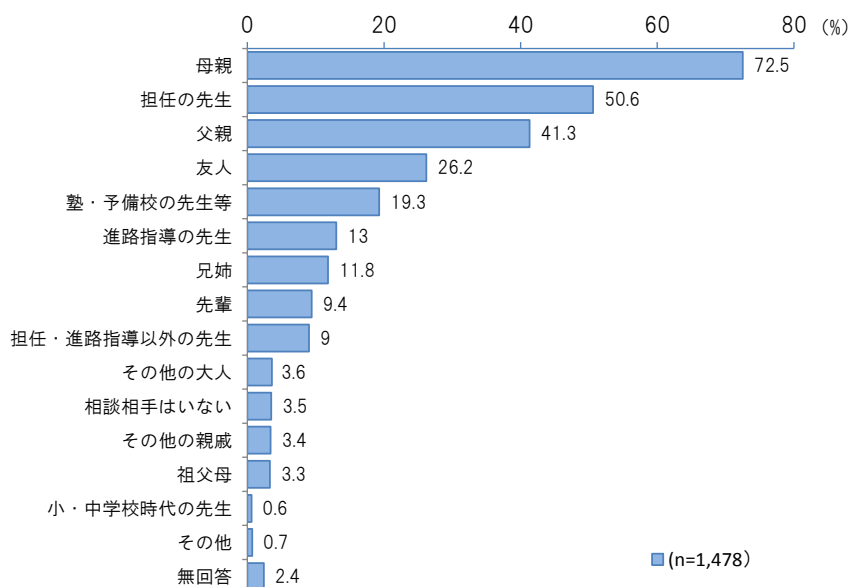
○問 17 進路の決定時期（最も近いと思うものを1つ選択）

「三年生の前期（4~9月）」と回答した割合が30.1%と最も高く、次いで「二年生の後期（10~3月）」(26.9%),「二年生の前期（4~9月）」(11.6%)となっている。



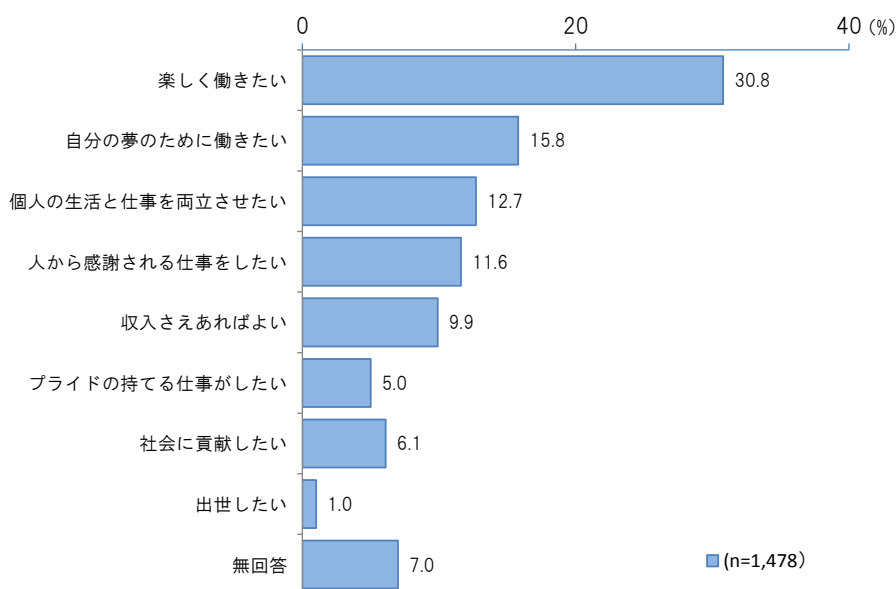
○問 18 進路について相談する相手（複数選択可）

「母親」と回答した割合が72.5%と最も高く、次いで「担任の先生」(50.6%)、「父親」(41.3%)となっている。



○問 19 職業観（最も近いと思うものを1つ選択）

「楽しく働きたい」と回答した割合が30.8%と最も高く、次いで「自分の夢のために働きたい」(15.8%)、「個人の生活と仕事を両立させたい」(12.7%)となっている。



○問 20 広島に暮らし続けたいと考える方への支援（自由記入）

広島に暮らし続けたいと考える方への支援について、雇用枠や相談窓口の増加など就職支援や、買い物やアミューズメント施設など商業施設等の充実を期待する意見が多くなっている。

	人数（人）
《産業》	117
■就職支援（雇用枠の増加，相談窓口の増加など）	46
■商業施設等の充実（買い物ができる施設，アミューズメント施設など）	39
■金銭的支援（賃金アップ，給付金など）	25
■職場に関すること（労働環境の改善など）	5
■イベント・祭りの充実（イベント，祭りなど）	2
《教育・福祉》	64
■学生に向けての支援（奨学金制度の充実，学費支援など）	27
■大学に関すること（魅力向上を図る，県内大学のPRなど）	15
■子育て支援（出産や育児への支援の充実など）	15
■学校の改善（学部等の多様化，質の向上など）	7
《都市基盤》	42
■アクセスの向上（アストラムラインを西広島まで，広島空港の移転など）	29
■生活環境の改善（過ごしやすい環境，豊かな自然環境，都市化など）	13
《行財政運営》	24
■地元の支援（東京圏・大阪圏から戻った人や地元に残る人への優遇など）	13
■税金の緩和（永住者への税金の緩和，軽自動車税の緩和など）	6
■情報発信（地域の魅力のPRなど）	5
《その他》	25

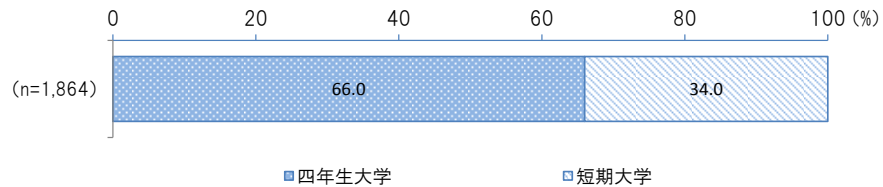
2 大学生調査

《あなた自身のことについて》

○属性

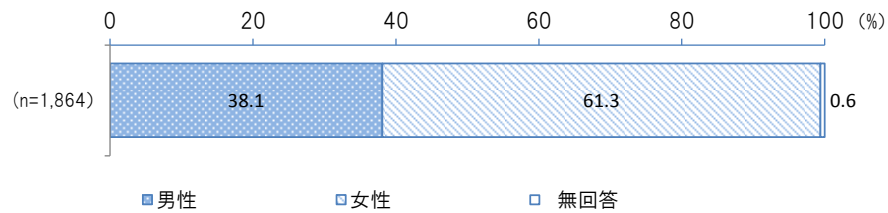
<大学・短期大学>

「四年制大学」が66.0%、「短期大学」が34.0%となっている。



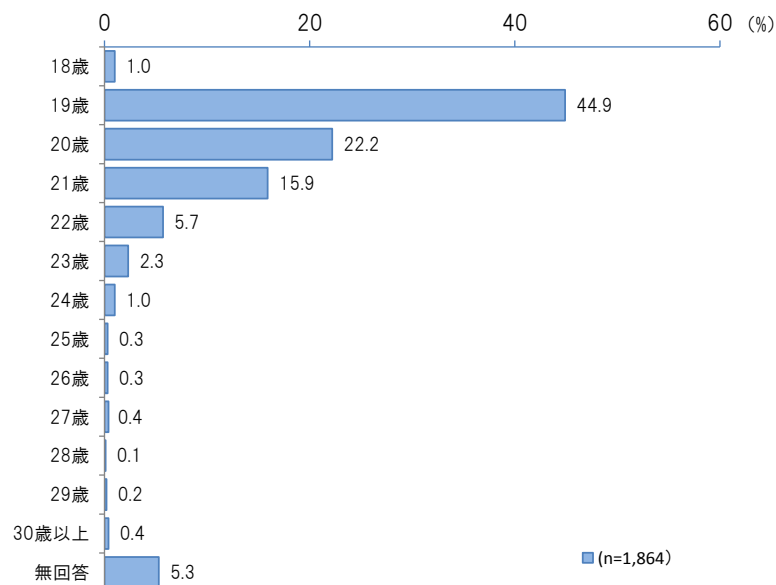
<性別>

「女性」と回答した割合が61.3%、「男性」と回答した割合が38.1%となっている。



<年齢>

「19歳」と回答した割合が44.9%と最も高く、次いで「20歳」(22.2%)、「21歳」(15.9%)となっている。



<出身地>

都道府県別にみると「広島県」と回答した割合が64.6%と最も高く、次いで「山口県」(5.5%)、「島根県」(5.4%)となっている。

	人数(人)	割合(%)
広島県	1,205	64.6
山口県	102	5.5
島根県	101	5.4
岡山県	92	4.9
愛媛県	50	2.7
兵庫県	41	2.2
香川県	31	1.7
福岡県	28	1.5
鳥取県, 長崎県	20	1.1
鹿児島県	14	0.8
愛知県, 熊本県	12	0.6
大阪府	11	0.6
徳島県, 大分県, その他	10	0.5
宮崎県	9	0.5
三重県, 京都府, 高知県	7	0.4
福井県, 岐阜県, 静岡県	6	0.3
佐賀県	5	0.3
北海道, 神奈川県, 沖縄県	4	0.2
茨城県, 千葉県, 滋賀県, 奈良県	3	0.2
東京都, 石川県, 長野県, 和歌山県	2	0.1
青森県, 岩手県, 福島県, 栃木県, 新潟県, 富山県	1	0.1
無回答	4	0.2

市町別にみると「広島県外」と回答した割合が35.1%と最も高く、次いで「広島市」(29.7%)、「福山市」(8.2%)となっている。

	人数(人)	割合(%)
広島市	553	29.7
福山市	152	8.2
呉市	93	5.0
東広島市	86	4.6
廿日市市	67	3.6
尾道市	43	2.3
三原市	40	2.1
三次市	19	1.0
府中町	18	1.0
熊野町	17	0.9
安芸高田市	15	0.8
北広島町	13	0.7
竹原市, 海田町	12	0.6
庄原市	10	0.5
府中市, 大竹市	8	0.4
坂町, 安芸太田町, 神石高原町	5	0.3
江田島市, 大崎上島町	4	0.2
世羅町	3	0.2
広島県外	655	35.1
無回答	17	0.9

<現住地>

都道府県別にみると「広島県」と回答した割合が94.5%と最も高く、次いで「岡山県」(2.2%)、「山口県」(1.5%)となっている。

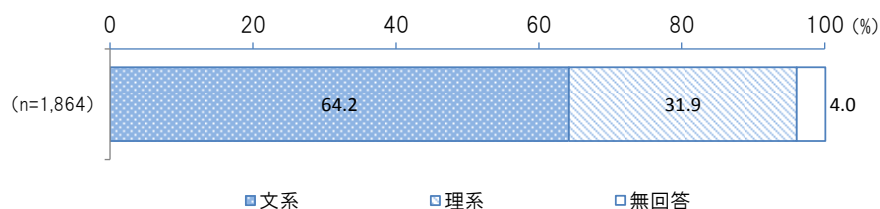
	人数(人)	割合(%)
広島県	1,762	94.5
岡山県	41	2.2
山口県	28	1.5
島根県	3	0.2
香川県, 愛媛県, 福岡県	1	0.1
無回答	27	1.4

市町別にみると「広島市」と回答した割合が48.6%と最も高く、次いで「東広島市」(14.3%)、「福山市」(13.7%)となっている。

	人数(人)	割合(%)
広島市	906	48.6
東広島市	267	14.3
福山市	255	13.7
廿日市市	111	6
呉市	72	3.9
三原市	27	1.4
尾道市	23	1.2
府中町	21	1.1
熊野町	15	0.8
海田町	14	0.8
大竹市	8	0.4
安芸高田市	7	0.4
坂町	6	0.3
府中市, 三次市	4	0.2
江田島市, 神石高原町	3	0.2
竹原市, 安芸太田町	2	0.1
広島県外	75	4.0
無回答	39	2.1

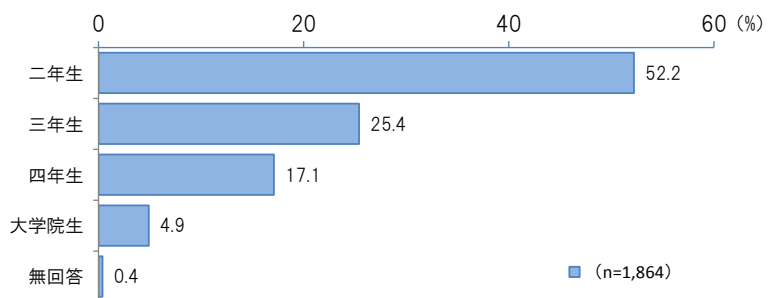
<理系・文系>

「文系」と回答した割合が64.2%と最も高く、次いで「理系」(31.9%)となっている。



<学年>

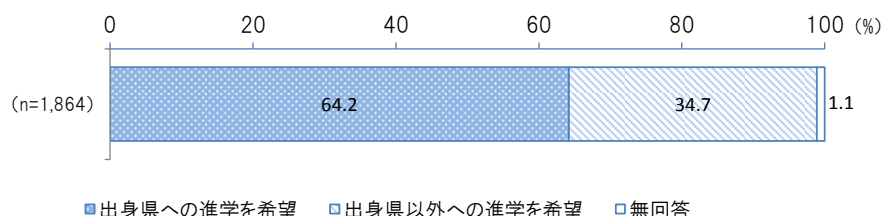
「二年生」と回答した割合が52.2%と最も高く、次いで「三年生」(25.4%)、「四年生」(17.1%)となっている。



《大学進学時の希望について》

○問7 出身県への進学希望の有無（どちらかを選択）

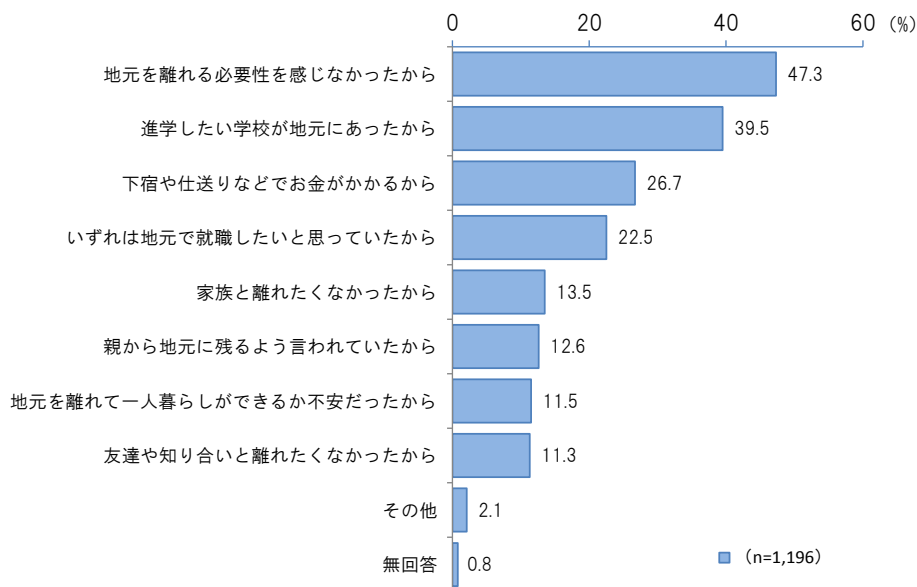
「出身県への進学を希望」と回答した割合が64.2%と最も高く、次いで「出身県以外への進学を希望」（34.7%）となっている。



○問8 「出身県」を希望していた理由（複数選択可）

※問7で「出身県への進学を希望」と回答した人

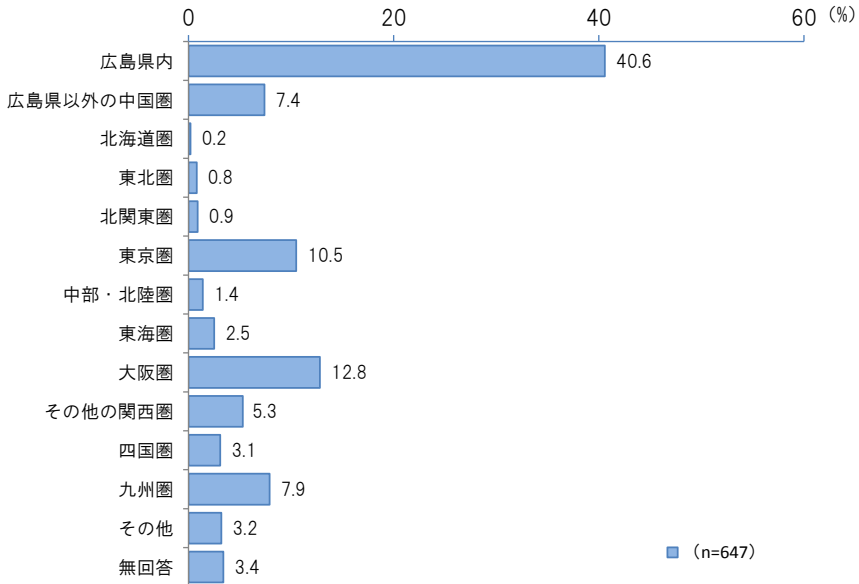
「地元を離れる必要性を感じなかったから」と回答した割合が47.3%と最も高く、次いで「進学したい学校が地元にあったから」（39.5%）、「下宿や仕送りなどでお金がかかるから」（26.7%）となっている。



○問9 進学を希望していた地域（最も希望していた地域を1つ選択）

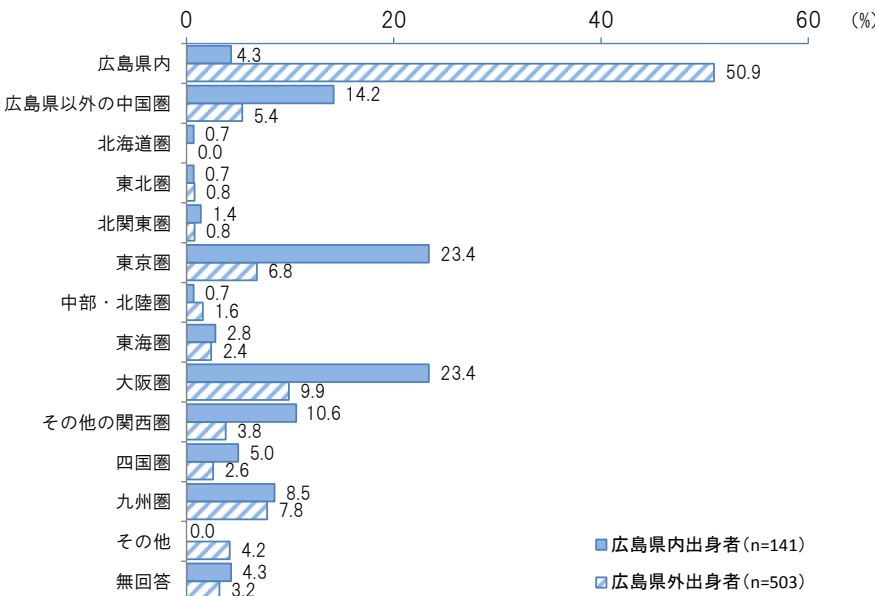
※問7で「出身県以外への進学を希望」と回答した人

「広島県内」と回答した割合が40.6%と最も高く、次いで「大阪圏」（12.8%）,「東京圏」（10.5%）となっている。



(出身地の県内・県外別)

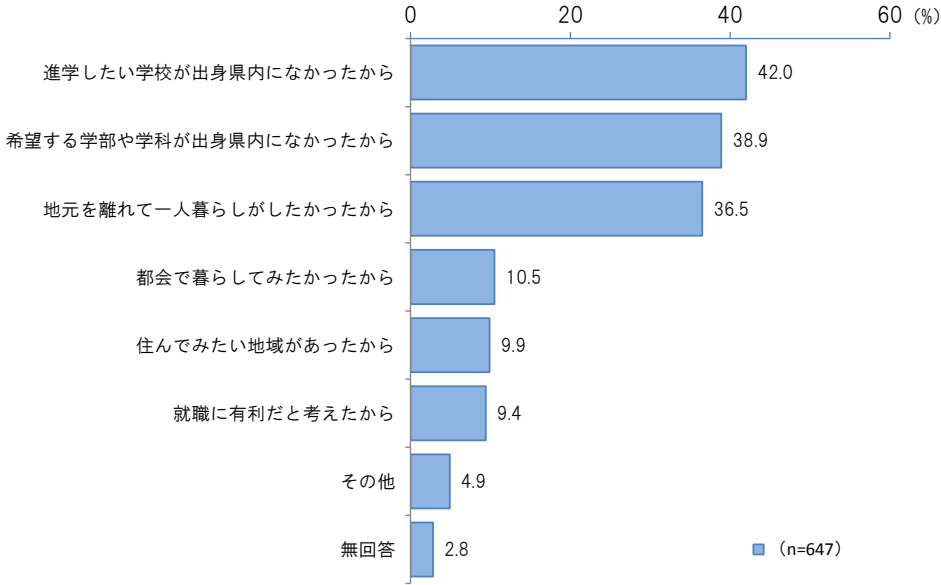
広島県内出身者では「東京圏」「大阪圏」と回答した割合がともに23.4%と最も高くなっている。それに対して、広島県外出身者では「広島県内」と回答した割合が50.9%と最も高くなっている。



○問10 「出身県以外」を希望していた理由（複数選択可）

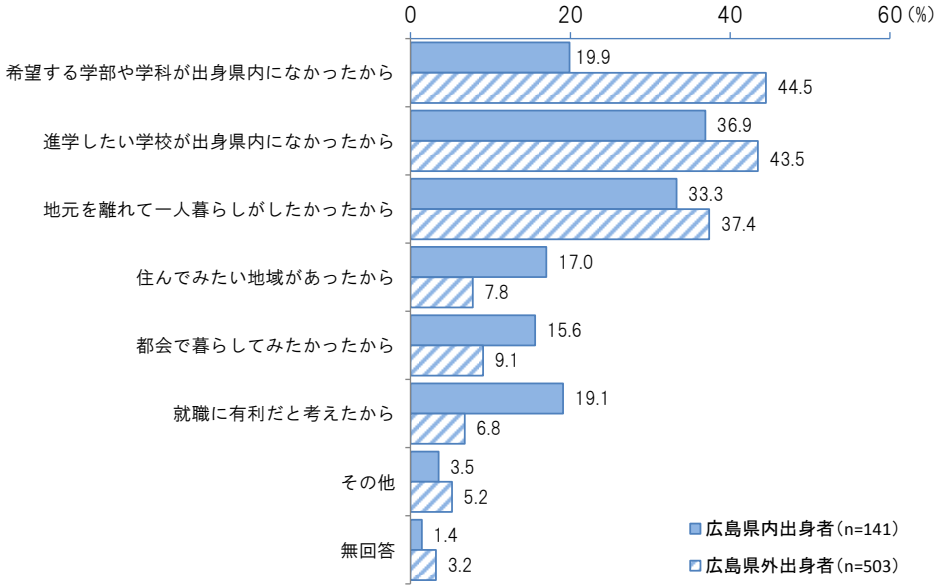
※問7で「出身県以外への進学を希望」と回答した人

「進学したい学校が出身県内になかったから」と回答した割合が42.0%と最も高く、次いで「希望する学部や学科が出身県内になかったから」(38.9%)、「地元を離れて一人暮らしがしたかったから」(36.5%)となっている。



(出身地の県内・県外別)

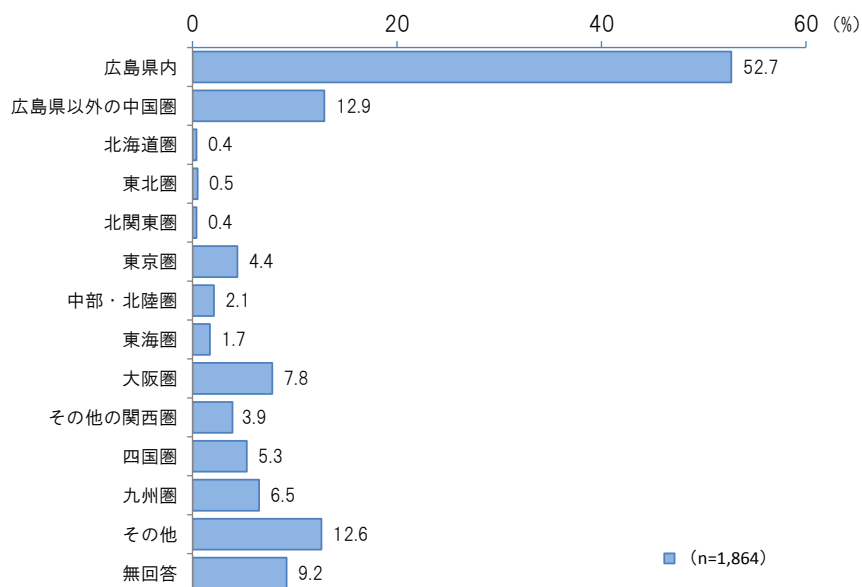
広島県内出身者では広島県外出身者と比べて、「住んでみたい地域があったから」「都会で暮らしてみたいから」「就職に有利だと考えたから」と回答した割合が高く、「希望する学部や学科が出身県内になかったから」「進学したい学校が出身県内になかったから」「地元を離れて一人暮らしがしたかったから」と回答した割合が低くなっている。



《全ての方について》

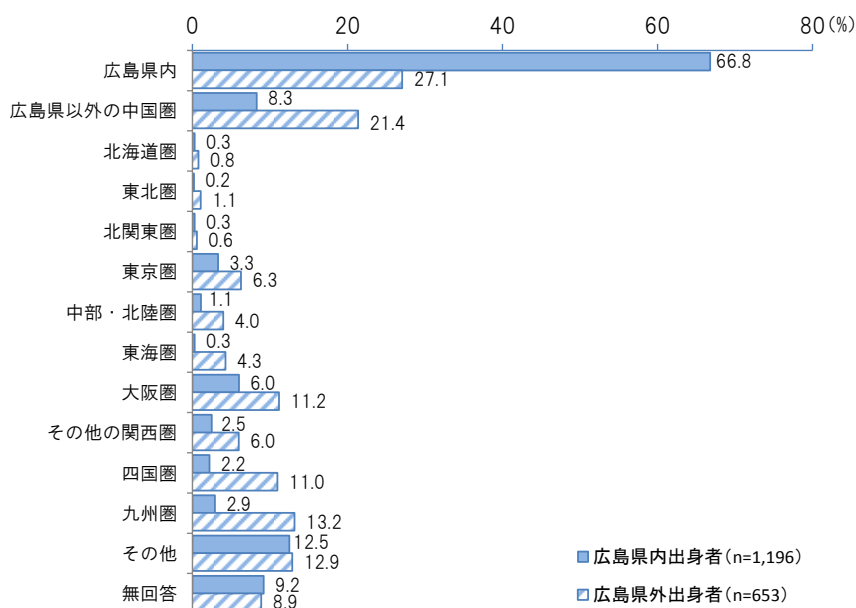
○問 11 併願していた他大学の所在地域（複数選択可）

「広島県内」と回答した割合が 52.7%と最も高く、次いで「広島県以外の中国圏」（12.9%）, 「その他」（12.6%）となっている。



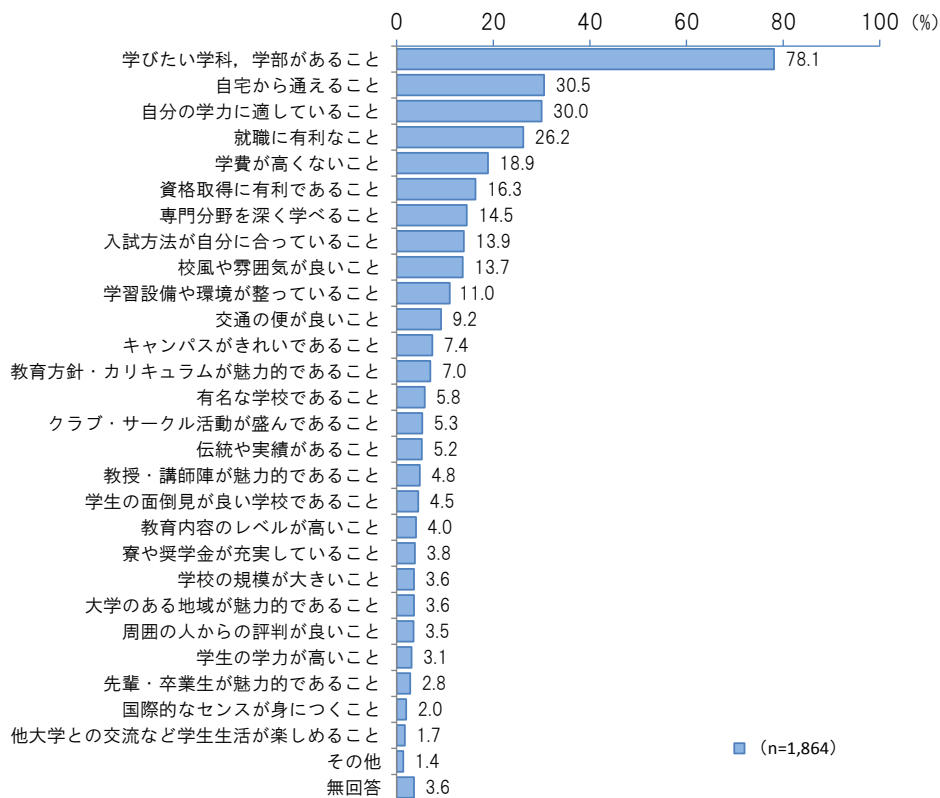
(出身地の県内・県外別)

広島県内出身者では広島県外出身者と比べて、「広島県内」と回答した割合が高く、「大阪圏」「その他の関西圏」「四国圏」「九州圏」と回答した割合が低くなっている。



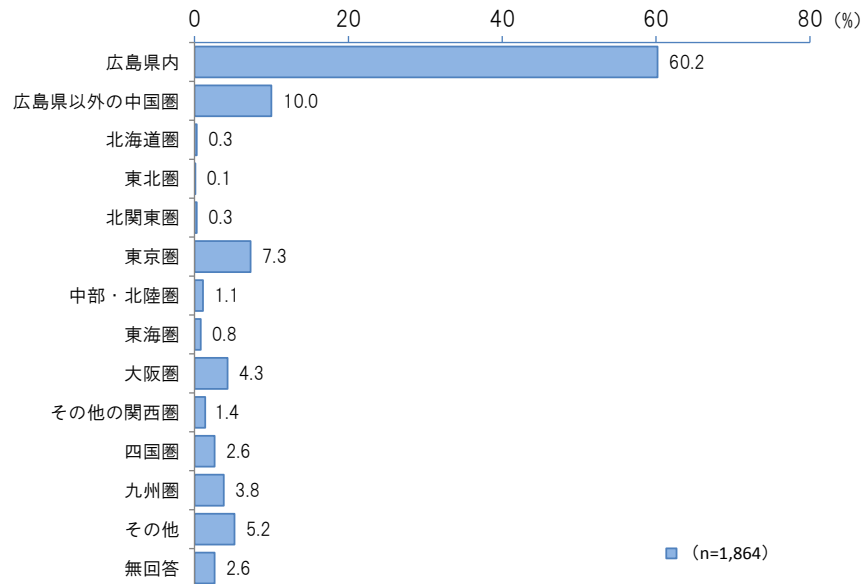
○問 12 志望校を検討する際に重視したこと（最大5つまで選択可）

「学びたい学科，学部があること」と回答した割合が78.1%と最も高く，次いで「自宅から通えること」（30.5%），「自分の学力に適していること」（30.0%）となっている。



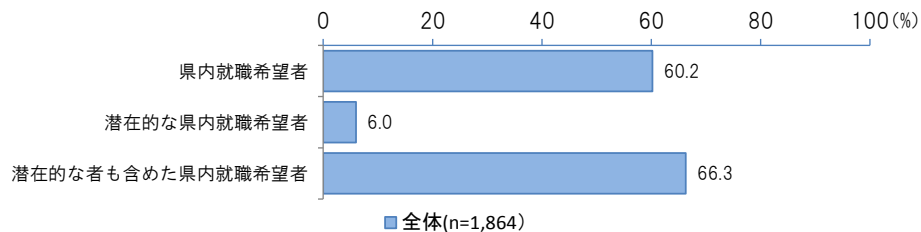
○問 13 就職を希望する地域（最も希望する地域を1つ選択）

「広島県内」と回答した割合が60.2%と最も高く、次いで「広島県以外の中国圏」（10.0%）、「東京圏」（7.3%）となっている。



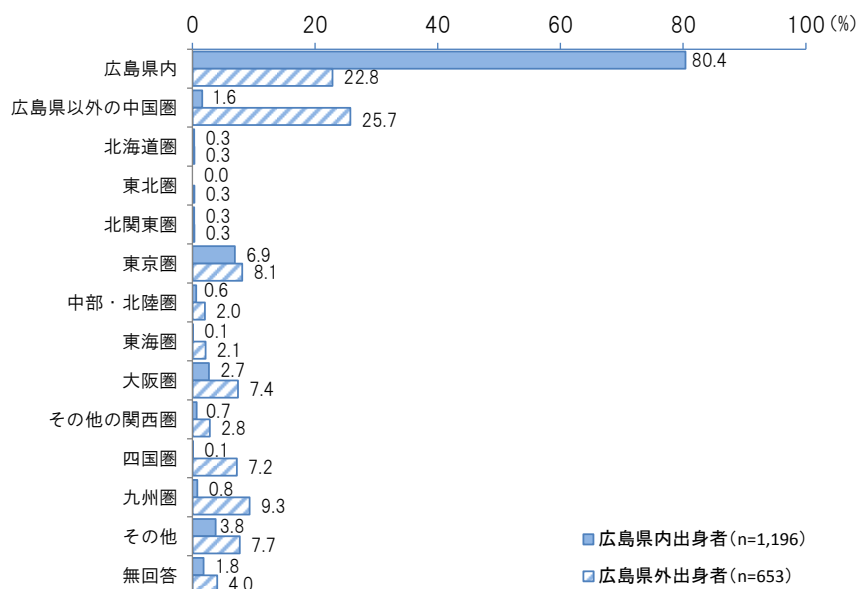
<定住志向のある者を考慮した場合>

就職したい企業がある等すれば県内に就職する可能性が高い層を「潜在的な県内就職希望者」とした場合、潜在的な者も含めた県内就職希望者は66.3%となっている。



(出身地の県内・県外別)

広島県内出身者では広島県外出身者と比べて、「広島県内」と回答した割合が高く、「広島県以外の中国圏」と回答した割合が低くなっている。

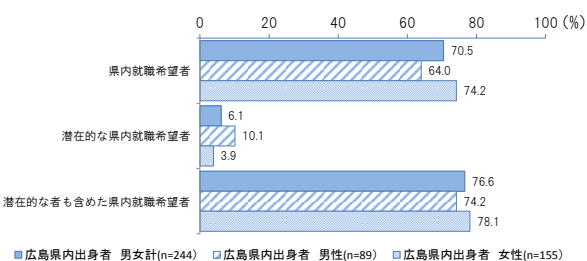


<定住志向のある者を考慮した場合（学校種別）>

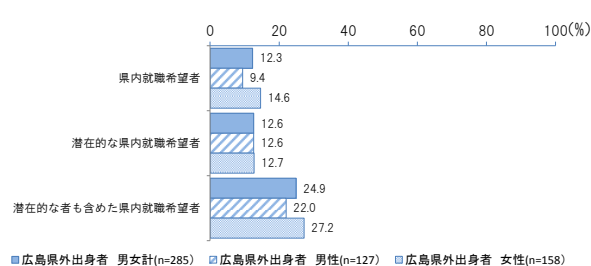
就職したい企業がある等すれば県内に就職する可能性が高い層を「潜在的な県内就職希望者」とした場合、潜在的な者も含めた県内就職希望者は、大学の広島県内出身者では76.6%、大学の広島県外出身者では24.9%、短期大学の広島県内出身者では86.1%、短期大学の広島県外出身者では39.1%となっている。

○大学

【広島県内出身者】

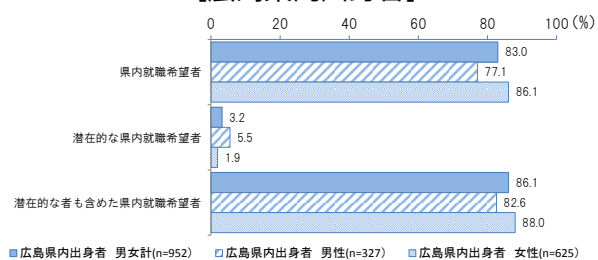


【広島県外出身者】

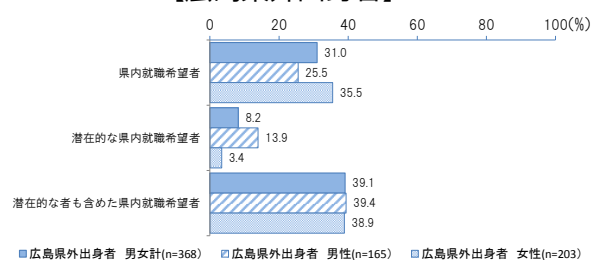


○短期大学

【広島県内出身者】



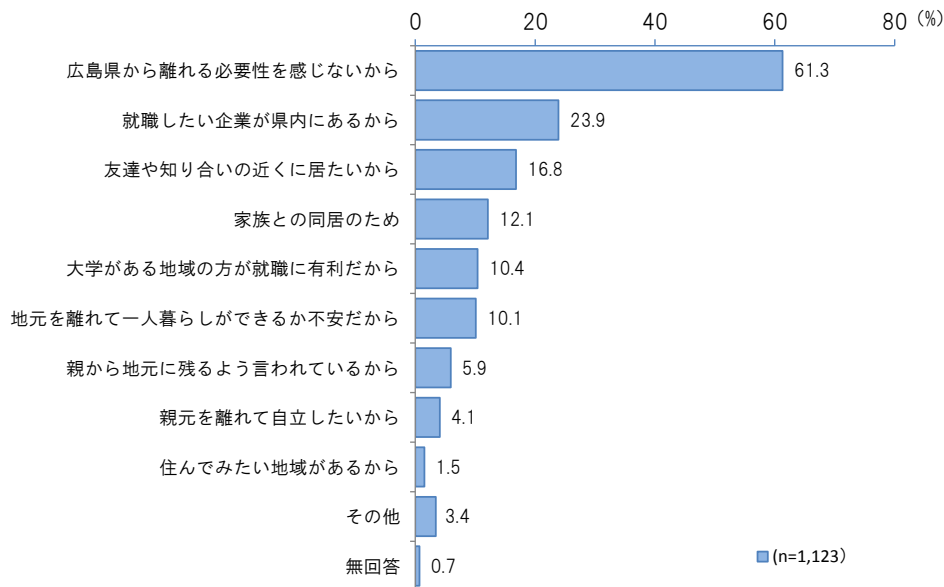
【広島県外出身者】



○問 14 広島県内を希望する理由（複数選択可）

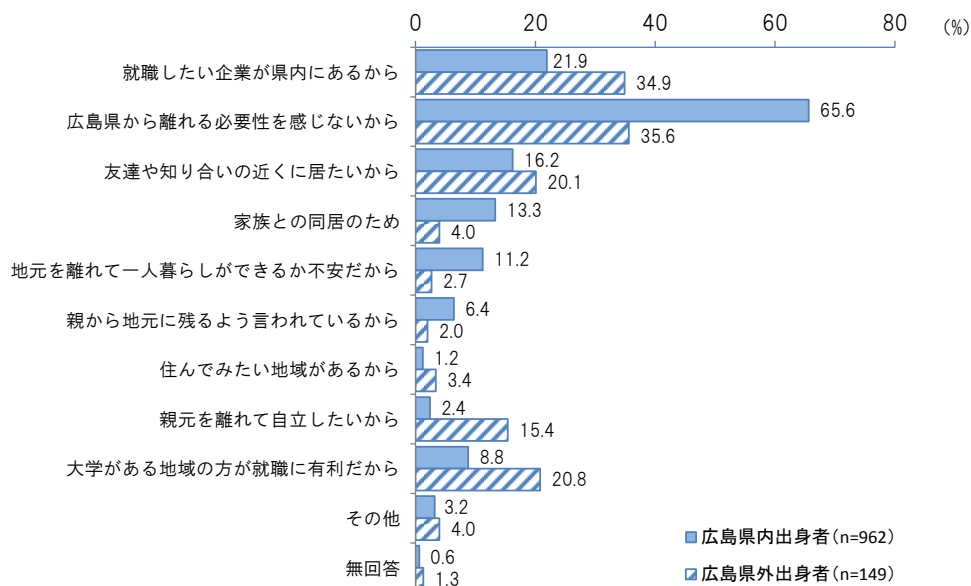
※問 13 で「広島県内」と回答した人

「広島県から離れる必要性を感じないから」と回答した割合が 61.3%と最も高く、次いで「就職したい企業が県内にあるから」（23.9%）、「友達や知り合いの近くに居たいから」（16.8%）となっている。



(出身地の県内・県外別)

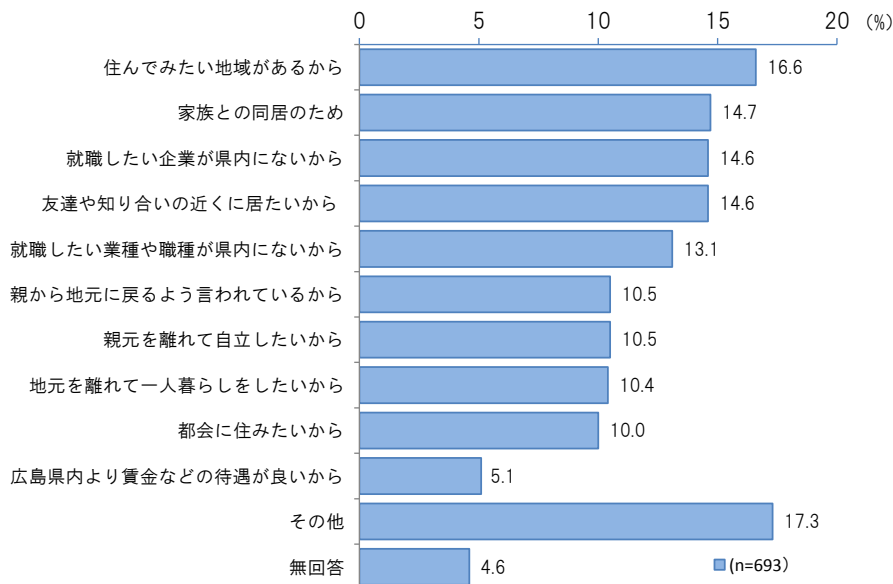
広島県内出身者では広島県外出身者と比べて、「広島県から離れる必要性を感じないから」「家族との同居のため」「地元を離れて一人暮らしができるか不安だから」と回答した割合が高く、「就職したい企業が県内にあるから」「親元を離れて自立したいから」「大学がある地域の方が就職に有利だから」と回答した割合は低くなっている。



○問 15 広島県外を希望する理由（複数選択可）

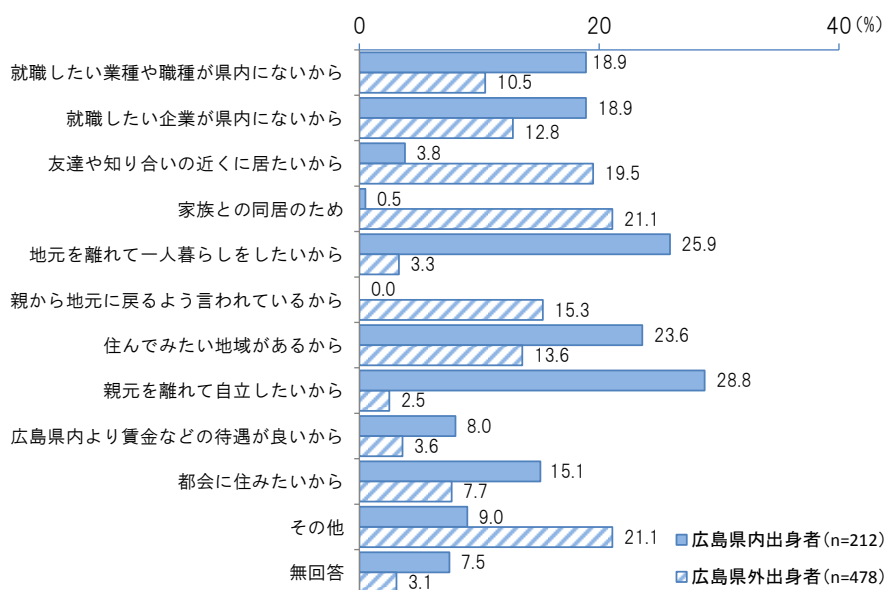
※問 13 で「広島県内」以外と回答した人

「住んでみたい地域があるから」と回答した割合が 16.6%と最も高く、次いで「家族との同居のため」(14.7%)、「就職したい企業が県内にないから」、「友達や知り合いの近くに居たいから」(ともに 14.6%) となっている。



(出身地の県内・県外別)

広島県内出身者では広島県外出身者と比べて、「就職したい業種や職種が県内にないから」「就職したい企業が県内にないから」「住んでみたい地域があるから」「広島県内よりも賃金などの待遇が良いから」「都会に住みたいから」と回答した割合が高くなっている。



○問 16 希望する業種や職種（自由記入）

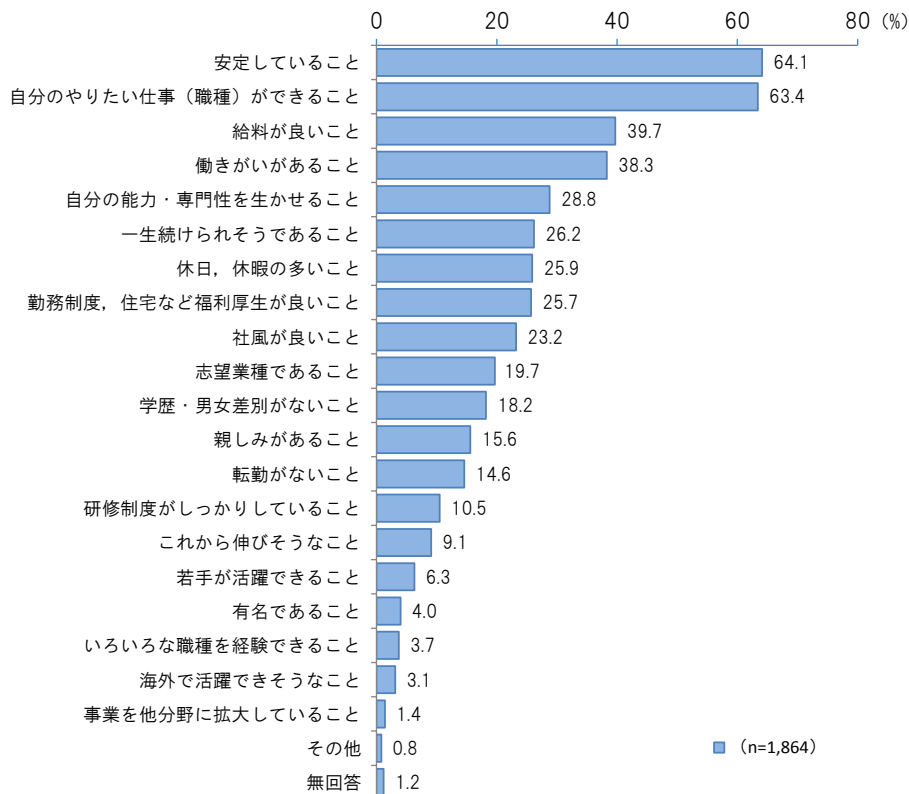
※問 15 で「就職したい業種や職種が県内にないから」と回答した人

広島県外で就職を希望する人の希望する業種や職種は次の通りであり、「研究職」「IT」「公務員」が多くなっている。

	人数（人）
●研究職	6
●IT ●公務員	各4
●インフラ ●商社 ●デザイン業 ●情報通信業	各3
●アパレル ●水族館職 ●メーカー ●看護師 ●金融 ●建設コンサルタント ●建築・設計 ●施行管理 ●航空	各2
●アートマネージメント ●アート系・クリエイティブ系 ●エネルギー業界の技術者 ●教員 ●新聞 ●スポーツメーカー ●製菓 ●ゼネコン ●ソーシャルビジネス ●ソフトウェア開発職 ●デバイス関係 ●マスコミ ●レコード会社・音楽事務所 ●ロボット関係 ●音響系 ●化粧品 ●医薬品等 ●家具インテリア ●介護・医療機器の開発・製造 ●学芸員 ●学校事務職 ●機械技術開発 ●客室乗務員 ●空調設備 ●建設業 ●広告 ●国際関係 ●自衛隊 ●出版関係 ●商品企画 ●製造業 ●造形スタッフ ●電気 ●農業 ●病棟保育士 ●保存修復関係 ●旅行・観光	各1

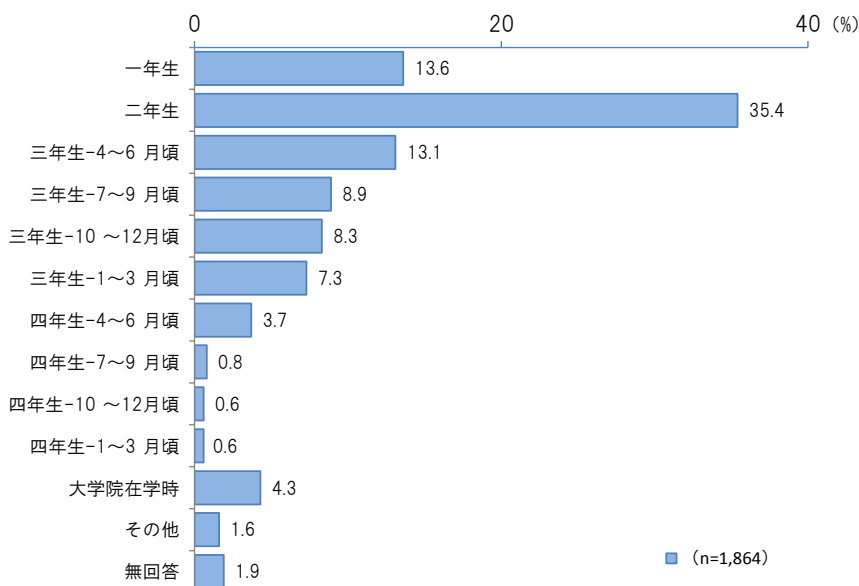
○問 17 就職先を検討する際に重視すること（複数選択可）

「安定していること」と回答した割合が64.1%と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事（職種）ができること」（63.4%）、「給料が良いこと」（39.7%）となっている。



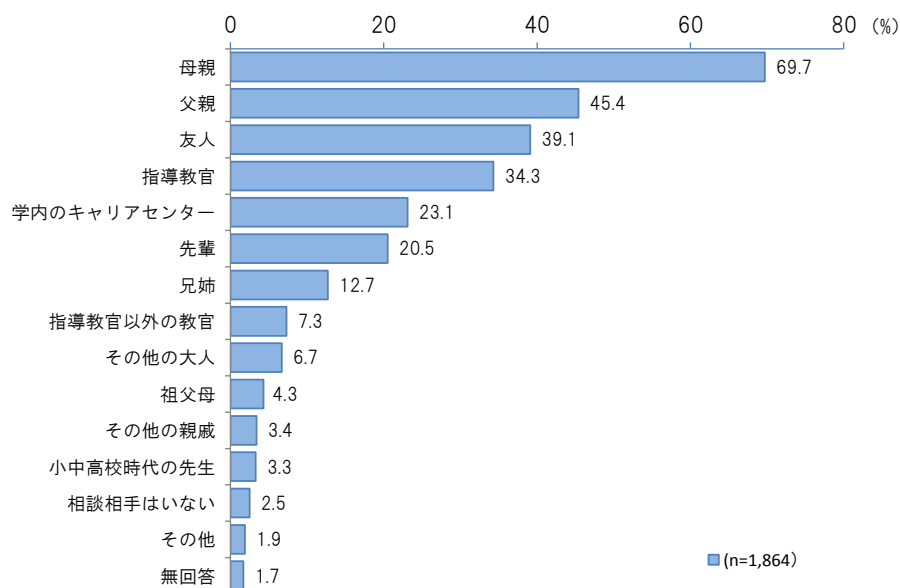
○問 18 就職先の検討開始時期（最も近いと思うものを1つ選択）

「二年生」と回答した割合が35.4%と最も高く、次いで「一年生」(13.6%)、「三年生-4～6月頃」(13.1%)となっている。



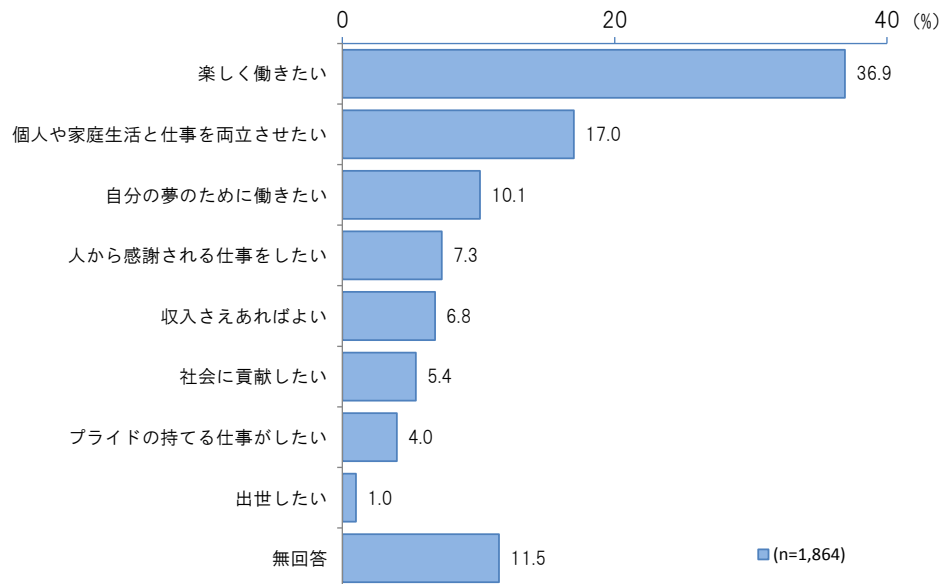
○問 19 就職先について相談する相手（複数選択可）

「母親」と回答した割合が69.7%と最も高く、次いで「父親」(45.4%)、「友人」(39.1%)となっている。



○問 20 あなたの職業観（最も近いと思うものを1つ選択）

職業観について、「楽しく働きたい」と回答した割合が36.9%と最も高く、次いで「個人や家庭生活と仕事を両立させたい」（17.0%）、「自分の夢のために働きたい」（10.1%）となっている。



○問 21 広島に魅力を感じるどころ（自由記入）

広島に魅力を感じるどころは次の通りであり、「住みやすさなどの居住環境等の魅力」「気候が良く自然災害が少ない恵まれた自然環境」「地元愛や人があたたかいなど地元・家族への愛着」に関するものが多くなっている。

	人数（人）
《生活基盤》	408
■居住環境等の魅力（適度に街や自然があるところ、住みやすいなど）	351
■公共交通機関（交通の便が良い、市電が便利など）	57
《産業》	208
■観光（宮島、原爆ドームなどの世界遺産があるところなど）	87
■商業（買い物する場所がたくさんあるところ、特産物があるなど）	45
■プロスポーツ（カープ、サンフレッチェなど）	38
■就労環境の魅力（様々な業種の仕事がある、中小企業が多くあるなど）	15
■人々が集う拠点（遊ぶところがたくさんあるなど）	12
■にぎわい（元気がある、活気があるなど）	11
《環境保全》	152
■恵まれた自然環境（気候が良い、自然災害が少ないなど）	108
■自然と共存する環境づくり（自然が豊かなところ、自然豊かで便利など）	44
《教育・文化》	172
■地元・家族への愛着（県民の地元愛が強いところ、人があたたかいところなど）	104
■文化・歴史の魅力（歴史があること、伝統がいろいろ残っていることなど）	22
■平和について（平和への意識が高いところ、平和都市として世界のヒロシマであることなど）	22
■スポーツ（スポーツが盛んなど）	8
■教育施設（広島大学があるところなど）	7
■国際交流（外国人が多く、交流の場がたくさんあるなど）	7
■文化財の保存・活用（神楽があるなど）	2
《その他の意見》	10

○問 22 広島に暮らし続けたいと考える方への支援（自由記入）

広島に暮らし続けたいと考える方への支援は次の通りであり、「就職ガイダンスや広島県の人々の雇用を優先するなど就職支援」「賃金アップや福利厚生充実など職場に関すること」「高速代の値下げなどアクセスの向上」に関するものが多くなっている。

	人数（人）
《産業》	217
■就職への支援（就職ガイダンス、広島人の雇用を優先するなど）	131
■職場に関すること（賃金を上げる、企業の福利厚生充実など）	41
■商業施設等の充実（娯楽施設増加、本通りの充実など）	40
■イベント・祭りの充実（外国の方と触れ合える機会を提供してもらえるなど）	5
《都市基盤》	80
■アクセスの向上（高速代の値下げ、アストラムラインが高いなど）	41
■環境改善（一人暮らしの応援、安い住居など）	39
《教育》	51
■大学に関すること（県内大学のPR活動など）	27
■学生に向けての支援（学費支援、奨学金制度の充実など）	24
《行財政運営》	46
■金銭的支援（住宅手当、ふるさと年金など）	18
■政策について（支援窓口の設置を行うなら窓口を知る手段を増やすことなど）	18
■地元の支援（同じ地域に住み続けたら、お金がもらえるなど）	8
■税金の緩和（税金の免除など）	2
《その他の意見》	7

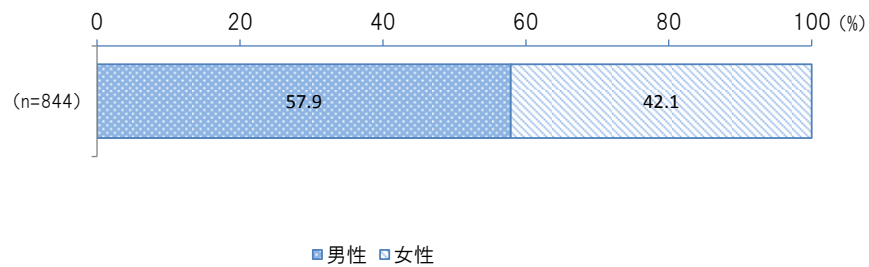
3 県出身者調査

《あなた自身のことについて》

○属性

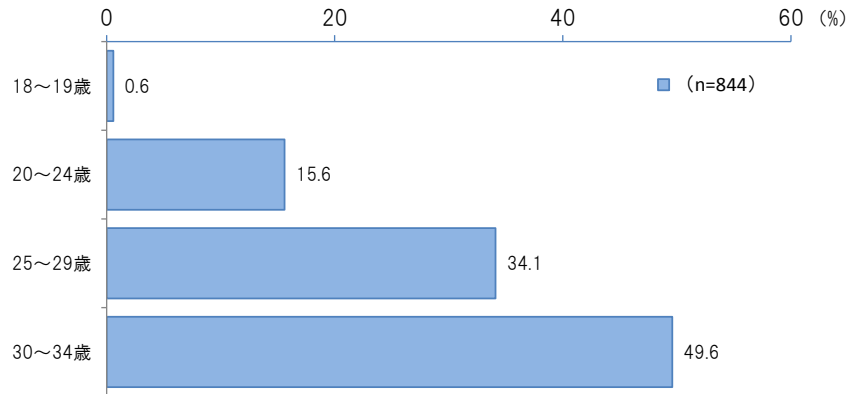
<性別>

「男性」と回答した割合が 57.9%、「女性」と回答した割合が 42.1%となっている。



<年齢>

「30～34歳」と回答した割合が 49.6%と最も高く、次いで「25～29歳」(34.1%)、「20～24歳」(15.6%)となっている。



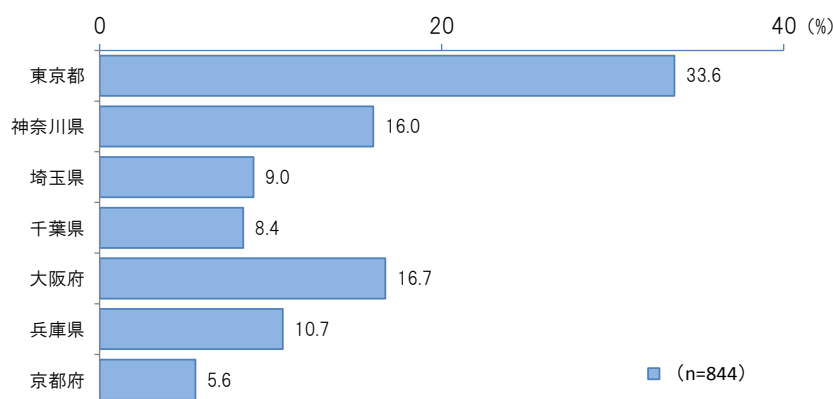
<出身地>

「広島市」と回答した割合が47.7%と最も高く、次いで「呉市」(12.8%)、「福山市」(9.2%)となっている。

	人数 (人)	割合 (%)
広島市	403	47.7
呉市	108	12.8
福山市	78	9.2
尾道市	38	4.5
東広島市	27	3.2
三原市	21	2.5
廿日市市	16	1.9
三次市	10	1.2
府中市, 安芸郡	7	0.8
庄原市	6	0.7
竹原市, 大竹市	5	0.6
海田町, 熊野町	4	0.5
府中町	3	0.4
安芸高田市, 江田島市, 北広島町, 大崎上島町, 世羅町	1	0.1
無回答	97	11.5

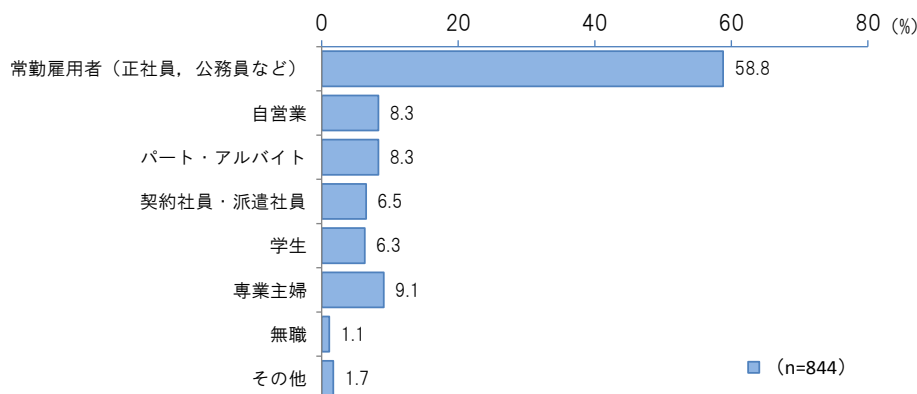
<現住地>

都道府県別にみると「東京都」と回答した割合が33.6%と最も高く、次いで「大阪府」(16.7%)、「神奈川県」(16.0%)となっている。



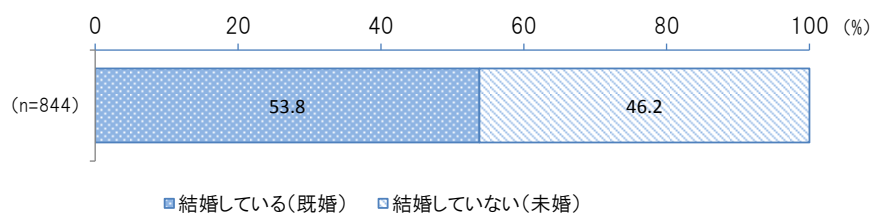
<職業>

「常勤雇用者（正社員，公務員など）」と回答した割合が58.8%と最も高く、次いで「専業主婦」(9.1%)、「自営業」, 「パート・アルバイト」(ともに8.3%)、「契約社員・派遣社員」(6.5%)、「学生」(6.3%)となっている。



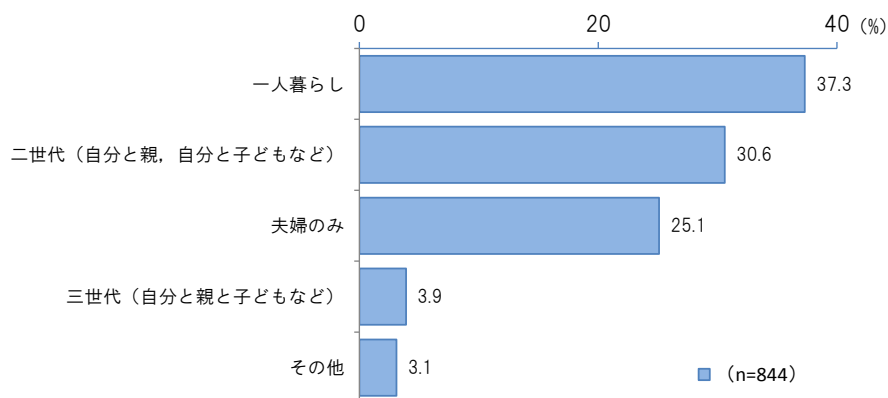
<既婚・未婚>

「結婚している（既婚）」と回答した割合が 53.8%と最も高く、次いで「結婚していない（未婚）」（46.2%）となっている。



<家族構成>

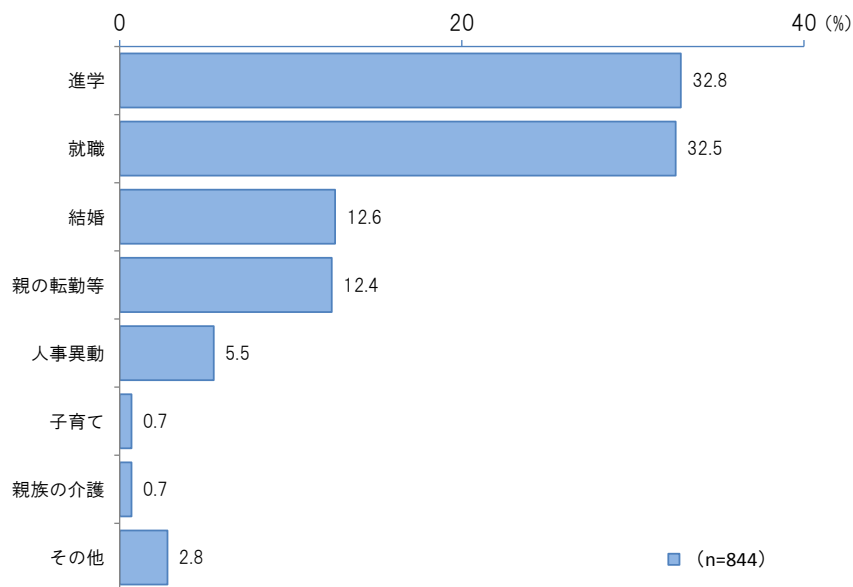
「一人暮らし」と回答した割合が 37.3%と最も高く、次いで「二世世代（自分と親，自分と子どもなど）」（30.6%）, 「夫婦のみ」（25.1%）となっている。



《東京圏・大阪圏で暮し始めたきっかけ》

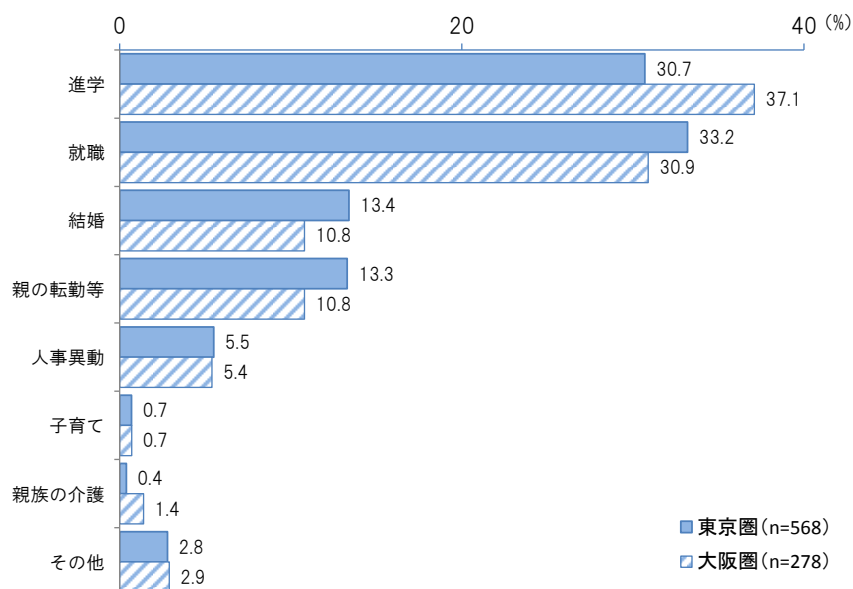
○問8 東京圏・大阪圏で暮し始めたきっかけ（最もあてはまるものを1つ選択）

「進学」と回答した割合が32.8%と最も高く、次いで「就職」（32.5%）,「結婚」（12.6%）となっている。



(東京圏・大阪圏別)

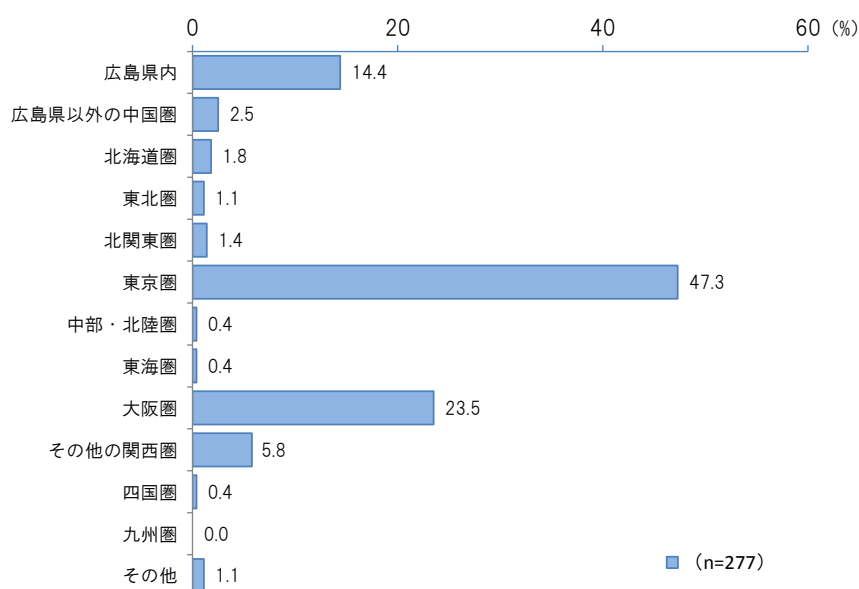
東京圏では大阪圏と比べて、「進学」と回答した割合が低くなっている。



《進学をきっかけに暮らし始めた方》

○問9 当時、進学を希望していた地域（最も希望していた地域を1つ選択）

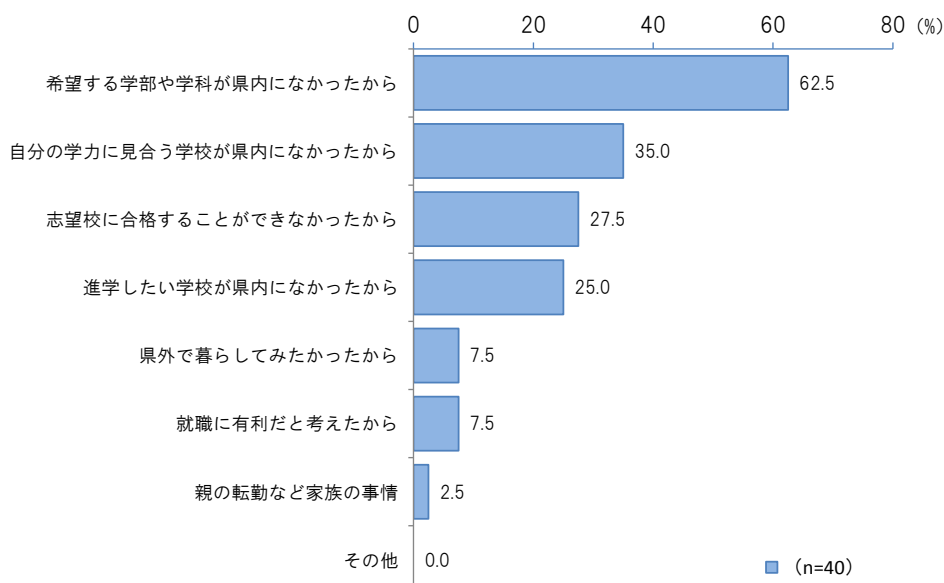
「東京圏」と回答した割合が47.3%と最も高く、次いで「大阪圏」(23.5%),「広島県内」(14.4%)となっている。



○問10 広島県内が希望だったが、結果として県外へ進学した理由（複数選択可）

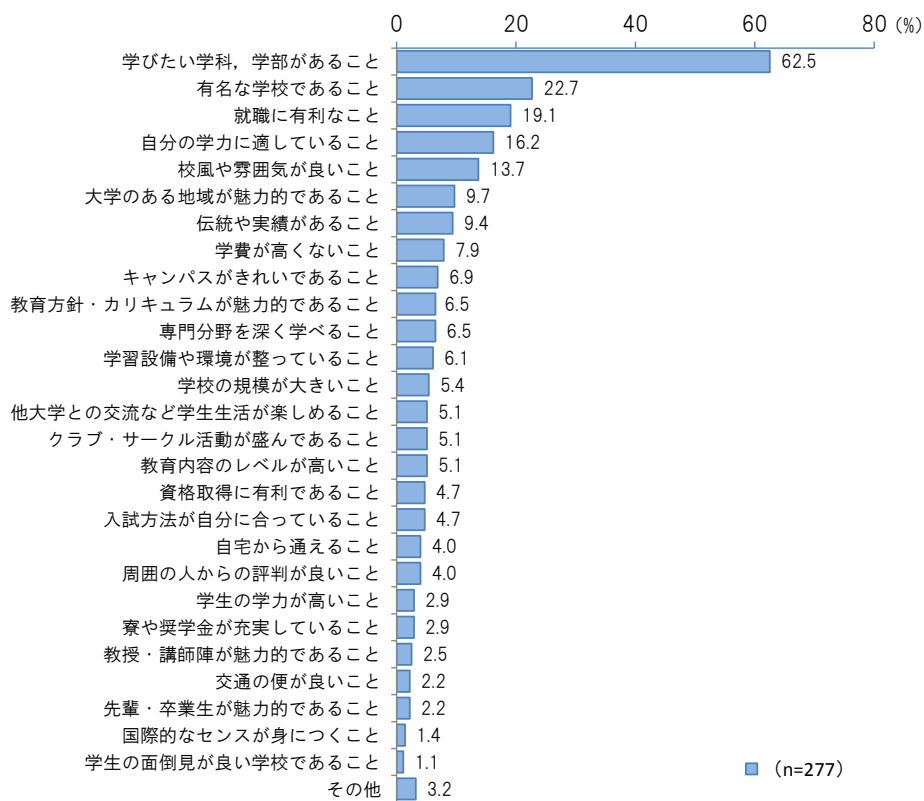
※問9で「広島県内」と回答した人

「希望する学部や学科が県内になかったから」と回答した割合が62.5%と最も高く、次いで「自分の学力に見合う学校が県内になかったから」(35.0%),「志望校に合格することができなかったから」(27.5%)となっている。



○問 11 志望校を検討する際に重視したこと（最大5つまで選択可）

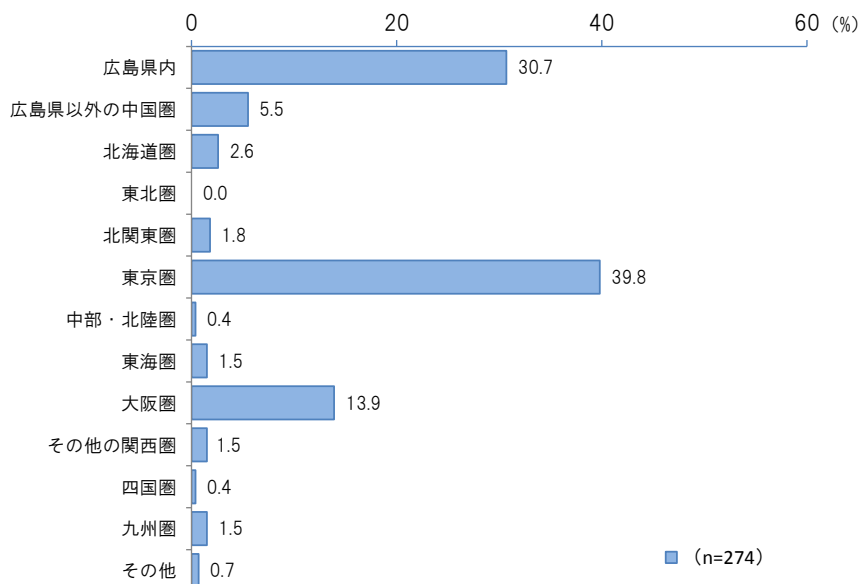
「学びたい学科，学部があること」と回答した割合が62.5%と最も高く，次いで「有名な学校であること」（22.7%），「就職に有利なこと」（19.1%）となっている。



《就職をきっかけに暮らし始めた方》

○問 12 当時、就職を希望していた地域（最も希望していた地域を1つ選択）

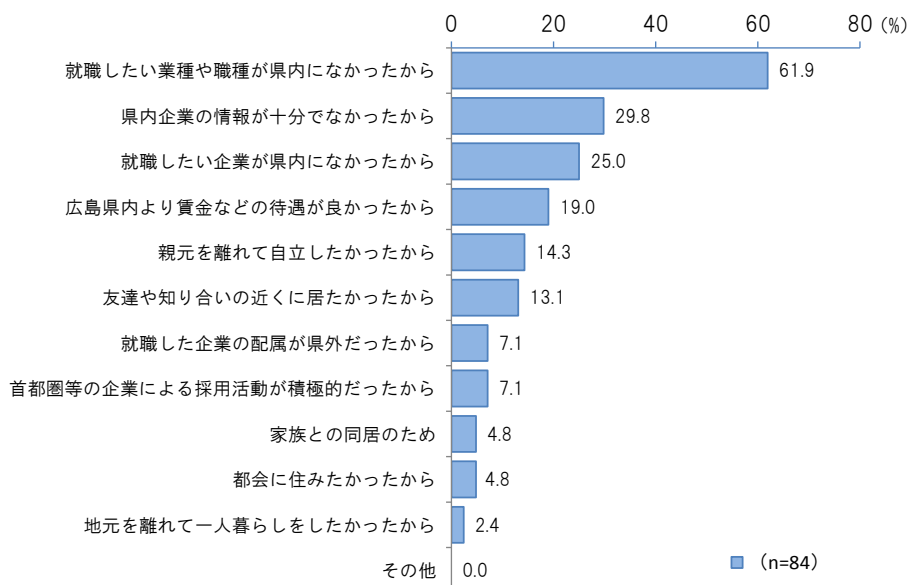
「東京圏」と回答した割合が39.8%と最も高く、次いで「広島県内」(30.7%)、「大阪圏」(13.9%)となっている。



○問 13 広島県内が希望だったが、結果として県外へ就職した理由（複数選択可）

※問 12 で「広島県内」と回答した人

「就職したい業種や職種が県内になかったから」と回答した割合が61.9%と最も高く、次いで「県内企業の情報が十分でなかったから」(29.8%)、「就職したい企業が県内になかったから」(25.0%)となっている。



○問 14 希望していた業種や職種（自由記入）

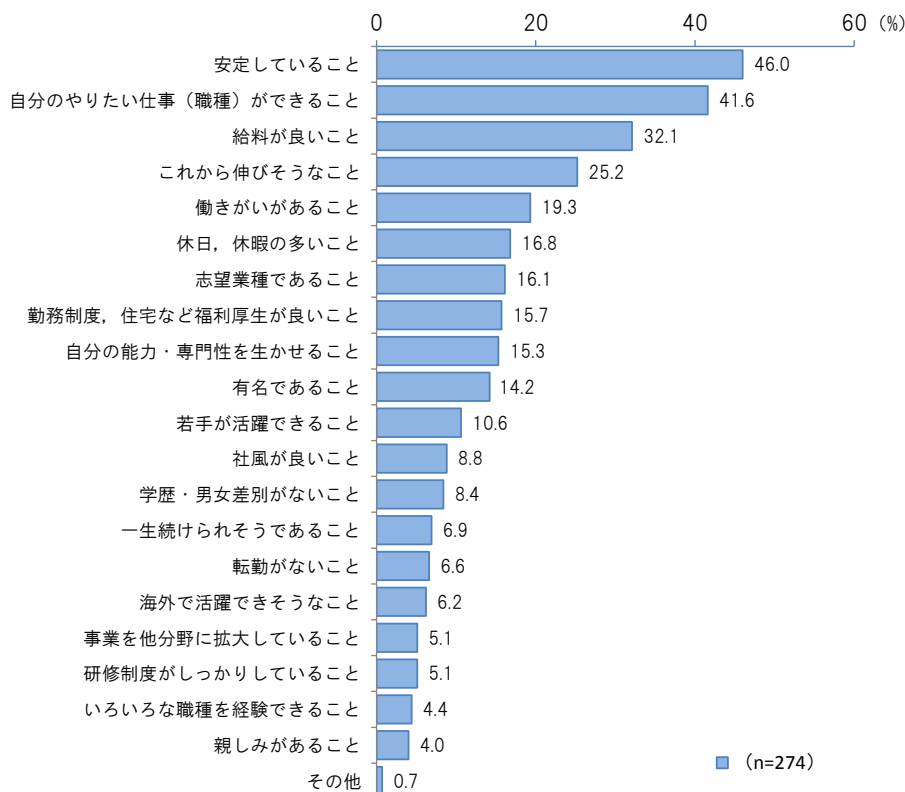
※問 13 で「就職したい業種や職種が県内になかったから」と回答した人

広島県内が希望だったが、結果として県外へ就職をした人が、希望していた業種や職種は次の通りであり、「IT」「情報処理」に関するものが多くなっている。

	人数（人）
●IT・情報処理	6
●医療・医薬品 ●製造業 ●営業職	各 4
●サービス業 ●その他	各 3
●法律・弁護士	2
●芸能 ●事務業 ●食品業 ●物流業 ●保険業 ●技術職 ●建設業	各 1

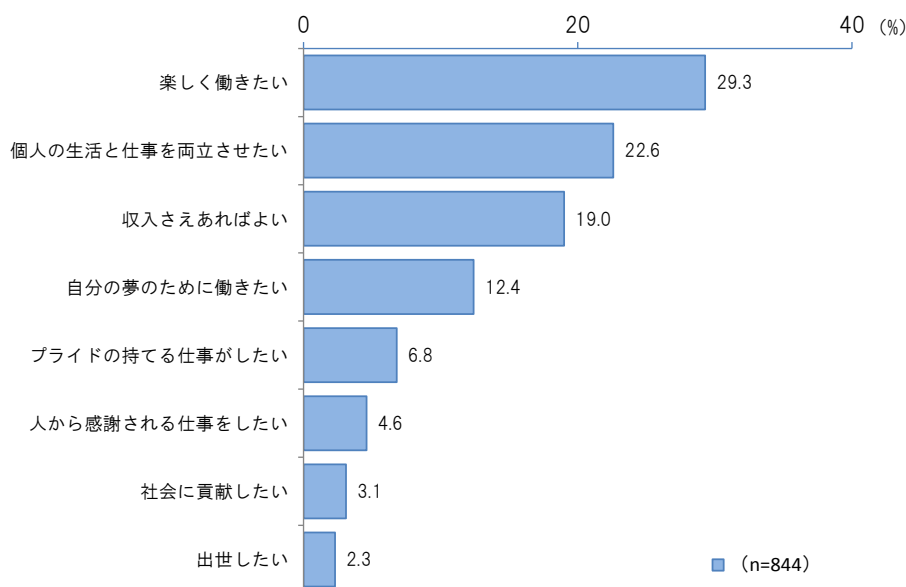
○問 15 就職先を検討した際に重視したこと（複数選択可）

「安定していること」と回答した割合が46.0%と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事（職種）ができること」（41.6%）、「給料が良いこと」（32.1%）となっている。



○問 16 職業観（最も近いと思うものを1つ選択）

「楽しく働きたい」と回答した割合が 29.3%と最も高く、次いで「個人の生活と仕事を両立させたい」（22.6%）、「収入さえあればよい」（19.0%）となっている。



○問 17 広島で暮らし続けたいと考える高校生や大学生に、あれば良い行政からの支援（自由記入）

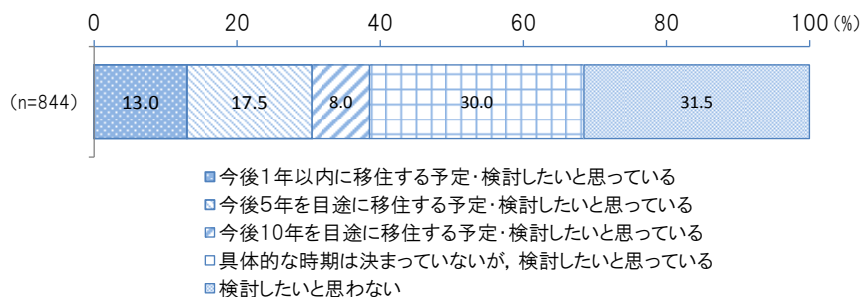
広島で暮らし続けたいと考える高校生や大学生に、あれば良い行政からの支援は次の通りであり、「就職先の紹介やUターン企業説明会など就職支援に関するもの」に関するものが多くなっている。

	人数 (人)
《産業》	386
■ 就職への支援（就職先の紹介、Uターン企業説明会など）	288
■ 職場に関すること（賃金値上げ、魅力的な企業の誘致など）	76
■ 商業施設等の充実（商業施設の拡大、遊ぶ場所の開発など）	16
■ イベント・祭りの充実（合コン、若者が集まりそうなイベントをすればいいと思うなど）	6
《教育》	40
■ 大学に関すること（県内大学の知名度・学力向上など）	17
■ 学生に向けての支援（無利子の奨学金、卒業後に広島県で働くことを条件にした学費支援など）	15
■ 学校の改善（学内でのキャリア教育(広島県で活躍している社会人からのアドバイスなど)	8
《行財政運営》	84
■ 金銭的支援について（金銭援助、医療費補助など）	30
■ 政策について（魅力のある街作りなど）	30
■ 地元の支援（地元出身者手当など）	4
■ 税金の緩和（減税、免税）	4
■ その他の支援（結婚につながる支援、下宿先の斡旋など）	16
《健康福祉》	18
■ 子育て支援（子育て支援の充実など）	18
《都市基盤》	3
■ アクセスの向上（自動車を運転しなくても会社に通えるような環境づくりなど）	3
《その他の意見》	15

《広島県への移住について》

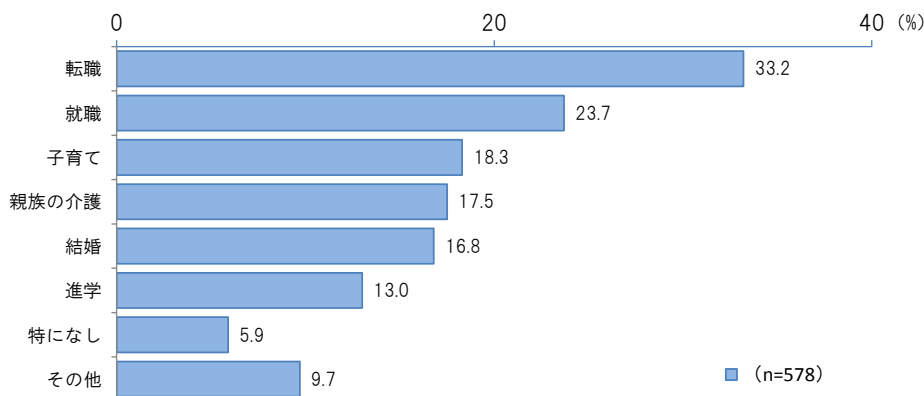
○問 18 広島県への移住の検討状況（1つ選択）

「検討したいと思わない」と回答した割合が31.5%と最も高く、次いで「具体的な時期は決まっていないが、検討したいと思っている」（30.0%）、「今後5年を目途に移住する予定・検討したいと思っている」（17.5%）となっている。



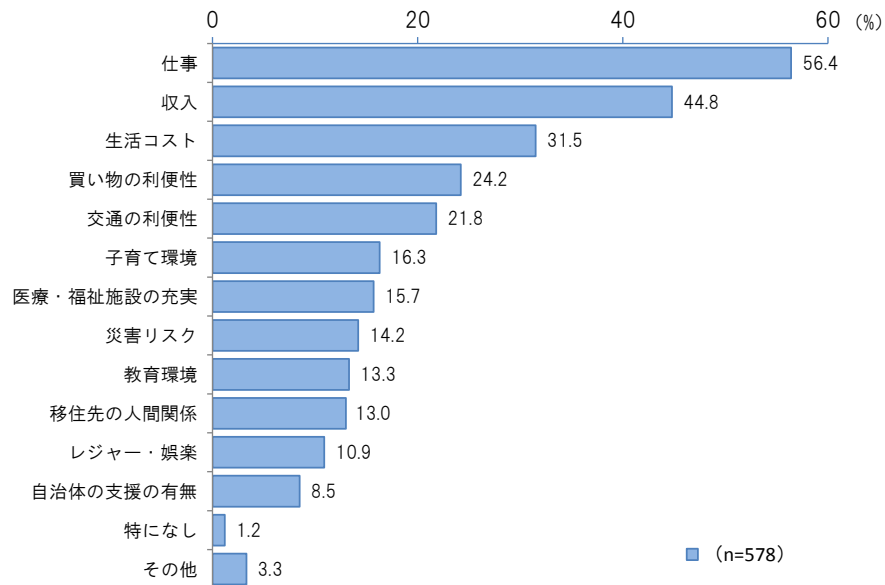
○問 19 今後、移住を検討するきっかけ（複数選択可）

「転職」と回答した割合が33.2%と最も高く、次いで「就職」（23.7%）、「子育て」（18.3%）となっている。



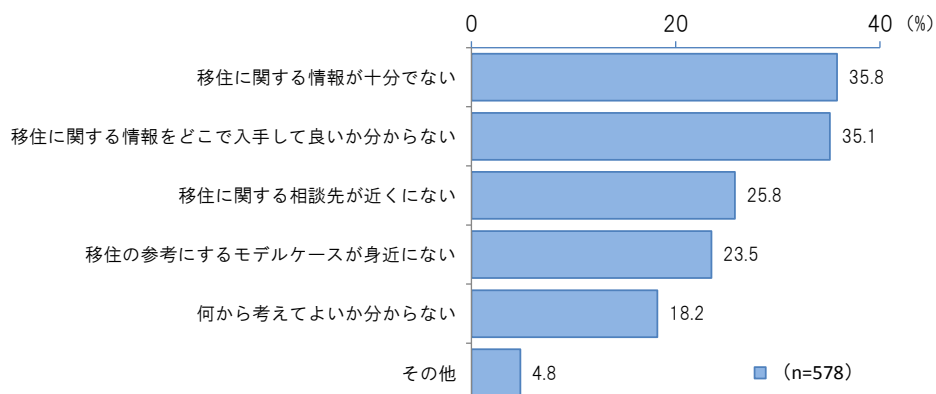
○問 20 東京圏・大阪圏からの移住を考える上で重視する点（複数選択可）

「仕事」と回答した割合が56.4%と最も高く、次いで「収入」（44.8%）、「生活コスト」（31.5%）となっている。



○問 21 東京圏・大阪圏からの移住を検討する上での、困りごと（複数選択可）

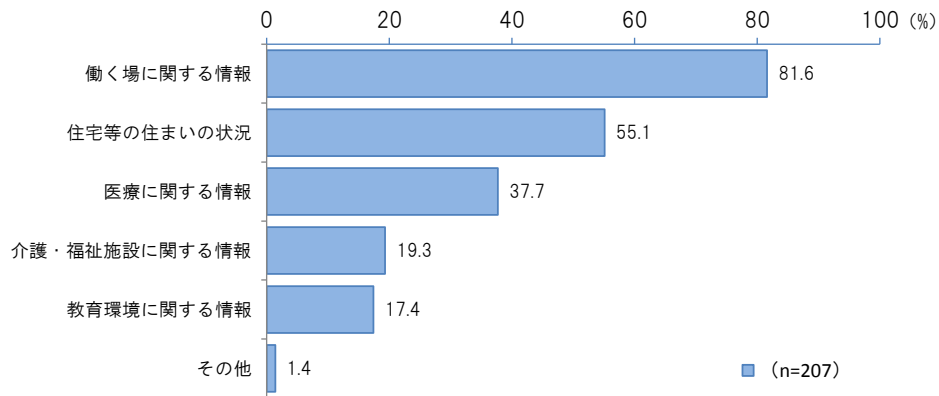
「移住に関する情報が十分でない」と回答した割合が35.8%と最も高く、次いで「移住に関する情報をどこで入手して良いか分からない」（35.1%）、「移住に関する相談先が近くにない」（25.8%）となっている。



○問 22 不十分だと考える情報（複数選択可）

※問 21 で「移住に関する情報が十分でない」と回答した人

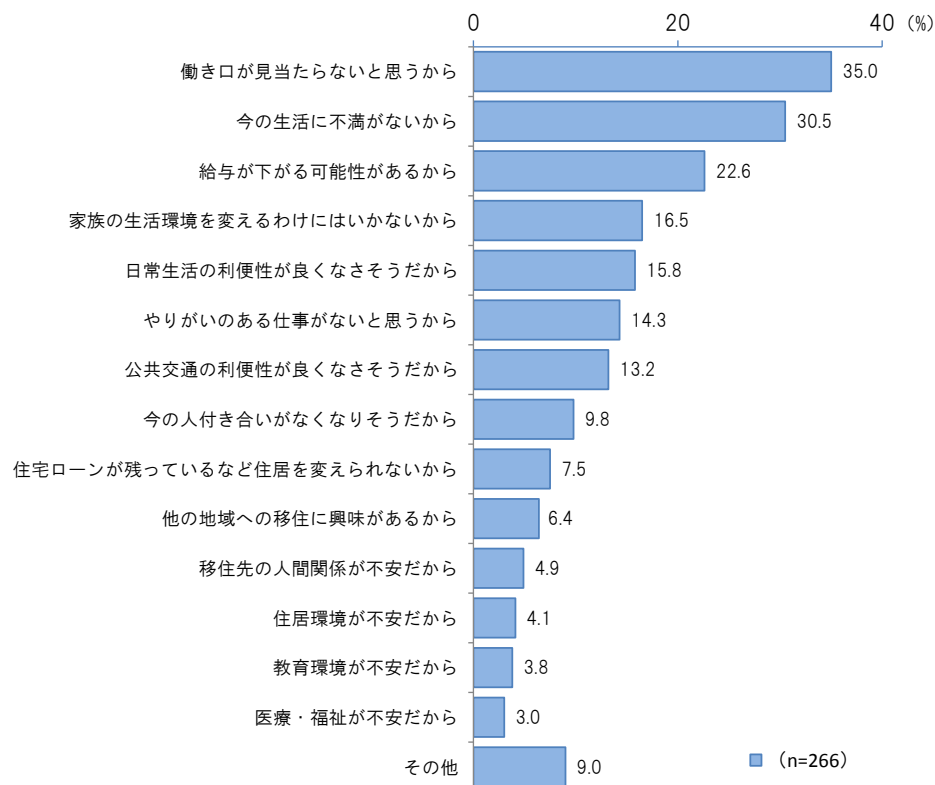
「働く場に関する情報」と回答した割合が 81.6%と最も高く、次いで「住宅等の住まいの状況」(55.1%)、「医療に関する情報」(37.7%)となっている。



○問 23 移住する予定がない理由（複数選択可）

※問 18 で「検討したいと思わない」と回答した人

「働き口が見当たらないと思うから」と回答した割合が 35.0%と最も高く、次いで「今の生活に不満がないから」(30.5%)、「給与が下がる可能性があるから」(22.6%)となっている。



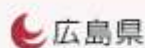
**○問 24 広島県へのU・Iターン移住を考える方に対してあれば良い行政からの支援
(自由記入)**

広島県へのU・Iターン移住を考える方に対してあれば良い行政からの支援は次の通りであり、「就職活動の支援」「移住に関する補助金などの支援」に関するものが増えている。

	人数(人)
《移住支援》	280
■ 移住に関する補助金などの支援(移住助成金, 補助金など)	150
■ 移住先の情報提供・魅力の周知(広島の特徴発信, 移住案内など)	54
■ 相談窓口の設置(移住相談, 相談窓口の拡大など)	48
■ 税金の免除(税制の優遇, 減税など)	15
■ 移住先の見学会や説明会(相談会, モデルケースの提示など)	13
《雇用・就職》	175
■ 就職活動の支援(就職支援, Uターンの交通費補助など)	113
■ 紹介・説明会などの支援(広島企業の紹介, 合同企業説明会など)	38
■ 就職相談窓口の拡充(就職相談など)	19
■ 企業の誘致(企業の誘致)	3
■ 福利厚生(福利厚生の充実)	2
《保健・医療・福祉》	28
■ 子育て支援(子育て支援, 子供を育てる環境作りなど)	26
■ 結婚について(婚活)	2
《生活環境》	30
■ 住みやすい環境づくり(利便性の向上, 町の発展など)	30
《その他の意見》	13

Ⅲ 調査票

1 高校生調査



「若者の定住志向に関するアンケート調査」への御協力をお願い ～高校生の皆さんへ～

いま、日本の将来人口の減少が、大きな社会問題となっています。

広島県では、進学や就職・転勤などに伴う人口流出が、毎年4,000人程で推移しており、特に、若い世代の転出超過が深刻な課題となっていることから、県では、将来にわたって広島で暮らしたいと考える皆さんの希望が叶うよう、県内大学の魅力向上や働く場の確保など、様々な対策を進めています。

今後の対策が、皆さんの声を反映したより良いものとなるよう、若い皆さんの進学や就職に対する考えなどを、お聞かせください。

平成27年4月

広島県総務局経営企画チーム

調査票の記入について

- この調査は、特に断りがないかぎり、平成27年4月1日現在でお答えください。
- お答えは設問ごとに、○印で番号を囲むように、お付けください。
なお、(1つ選択)、(複数選択可)など、それぞれ指定されていますので、御注意ください。
- 「その他」に当てはまる場合は、その番号を○で囲むとともに、()内に具体的に記入ください。
- 設問中にある、地域区分は以下のとおりです。

「北海道圏」：北海道
「東北圏」：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
「北関東圏」：茨城県、栃木県、群馬県
「東京圏」：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
「中部・北陸圏」：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
「東海圏」：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
「大阪圏」：京都市、大阪市、兵庫県
「その他の関西圏」：滋賀県、奈良県、和歌山県
「中国圏」：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
「四国圏」：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
「九州圏」：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

■お問い合わせ先

広島県総務局経営企画チーム 地方創生担当

広島県広島市中区基町10-52

TEL 082-513-2396

＜あなた自身のことについて、ご記入ください＞

問1 性別

1. 男性 2. 女性

問2 年齢

歳

問3 出身地

(都・道・府・県)

(市・町・村)

問4 現住地

(都・道・府・県)

(市・町・村)

問5 学科等

- ① 1. 普通科、総合学科 2. 専門学科 (農業、工業、商業、家庭、看護、福祉、体育、国際等)
② 1. 全日制 2. 定時制 3. 通信制

＜全ての方に、卒業後の進路についてお聞きします＞

問6 卒業後の進路希望 (最も希望するものを1つ選択)

1. 四年制大学 (文系) 2. 四年制大学 (理系) 3. 短期大学 4. 専修学校・各種学校
5. その他の進学 6. 就職 7. 家業の手伝い 8. 分からない
9. その他 ()

6 就職を希望する方は問11へ
7, 8, 9 を希望する方は問16へ

＜進学を希望する方に、お聞きします＞

問7 進学を希望する地域 (最も希望する地域を1つ選択)

1. 広島県内 2. 広島県以外の中国圏 3. 北海道圏 4. 東北圏 5. 北関東圏
6. 東京圏 7. 中部・北陸圏 8. 東海圏 9. 大阪圏 10. その他の関西圏
11. 四国圏 12. 九州圏 13. その他 ()

2～13 を選択した方は問9へ

問8 進学について「広島県内」を希望する方にお聞きします。

広島県内を希望する理由 (複数選択可)

1. 進学したい学校が地元にあるから 2. 地元を離れる必要性を感じないから
3. 友達や知り合いと離れたくないから 4. 家族との同居のため
5. 地元を離れて一人暮らしができるか不安だから 6. 保護者から地元に現るよう言われているから
7. 地元で就職したいから 8. 下宿や仕送りなどでお金がかかるから

9. その他 () 問10へ

問9 進学について「広島県外」を希望する方にお聞きします。

広島県外を希望する理由 (複数選択可)

1. 希望する学部や学科が県内にないから 2. 進学したい学校が県内にないから
3. 自分の学力に見合う学校が県内にないから 4. 地元を離れて一人暮らしがしたいから
5. 住んでみたい地域があるから 6. 都会で暮らしてみたいから
7. 就職に有利だと考えるから

8. その他 ()

問10 進学を希望する方、全員にお聞きします。

志望校を検討する際に重複すること（最大5つまで選択可）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 学びたい学科、学部があること | 2. 校風や雰囲気が良いこと |
| 3. 就職に有利なこと | 4. 自宅から通えること |
| 5. 他大学との交流など学生生活が楽しめること | 6. 資格取得に有利であること |
| 7. 自分の学力に逼っていること | 8. 教育方針・カリキュラムが魅力的であること |
| 9. 学習設備や環境が整っていること | 10. 伝統や実績があること |
| 11. キャンパスがきれいであること | 12. 入試方法が自分に合っていること |
| 13. 専門分野を深く学べること | 14. 交通の便が良いこと |
| 15. 有名な学校であること | 16. 学費が高くないこと |
| 17. クラブ・サークル活動が盛んであること | 18. 周囲の人からの評判が良いこと |
| 19. 教育内容のレベルが高いこと | 20. 国際的なセンスが身につくこと |
| 21. 学生の学力が高いこと | 22. 学生の面倒見が良い学校であること |
| 23. 教授・講師陣が魅力的であること | 24. 先輩・卒業生が魅力的であること |
| 25. 寮や奨学金が充実していること | 26. 学校の規模が大きいこと |
| 27. 大学のある地域が魅力的であること | |
| 28. その他（
） | |

進学を希望する方は**問16**へ

<就職を希望する方に、お聞きします>

問11 就職を希望する地域（最も希望する地域を1つ選択）

1. 広島県内 2. 広島県以外の中国圏 3. 北海道圏 4. 東北圏 5. 北関東圏
6. 東京圏 7. 中部・北陸圏 8. 東海圏 9. 大阪圏 10. その他の関西圏
11. 四国圏 12. 九州圏 13. その他（
）

2～13 を選択した方は**問13**へ

問12 「広島県内」への就職を希望する方にお聞きします。

広島県内を希望する理由（複数選択可）

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 就職したい企業が県内にあるから | 2. 地元から離れるの必要性を感じないから |
| 3. 友達や知り合いと離れたくないから | 4. 家族との同居のため |
| 5. 地元を離れて一人暮らしができるか不安だから | 6. 保護者から地元に残るように言われているから |
| 7. 住んでみたい地域があるから | 8. 地元の方が就職に有利だから |
| 9. その他（
） | |

問15へ

問13 「広島県外」への就職を希望する方にお聞きします。

広島県外を希望する理由（複数選択可）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 就職したい業種や職種が県内にないから | 2. 就職したい企業が県内にないから |
| 3. 地元を離れて一人暮らしをしたいから | 4. 住んでみたい地域があるから |
| 5. 都会で暮らしてみたいから | 6. 保護者の元を離れて自立したいから |
| 7. 広島県内より賃金などの待遇が良いから | |
| 8. その他（
） | |

問14 問13で「1 就職したい業種や職種が県内にないから」を選択した方、にお聞きします。

どのような業種や職種を希望されていますか。

— 裏面へ続く —

問15 就職を希望する方、全員にお聞きします。

就職先を検討する際に重視すること（複数選択可）

1. 安定していること
2. これから伸びそうなこと
3. 給料が良いこと
4. 自分のやりたい仕事（職種）ができること
5. 有名であること
6. 休日、休暇の多いこと
7. 勤務制度、住宅など福利厚生が良いこと
8. 転勤がないこと
9. 海外で活躍できそうなこと
10. いろいろな職種を経験できること
11. 自分の能力・専門性を生かせること
12. 学歴・男女差別がないこと
13. 若手が活躍できること
14. 事業を他分野に拡大していること
15. 働きがいがあること
16. 志望業種であること
17. 親しみがあること
18. 社風が良いこと
19. 一生続けられそうであること
20. 研修制度がしっかりしていること
21. その他（ ）

<すべての方にお聞きします>

問16 進路の検討開始時期（最も近いと思うものを1つ選択）

1. 一年生
2. 二年生
3. 三年生-4～6月頃
4. 三年生-7～9月頃
5. 三年生-10～12月頃
6. 三年生-1～3月頃
- (定時制) 7. 四年生-4～6月頃
8. 四年生-7～9月頃
9. 四年生-10～12月頃
10. 四年生-1～3月頃
11. その他（ ）

問17 進路の決定時期（最も近いと思うものを1つ選択）

1. 一年生の前期（4～9月）
2. 一年生の後期（10～3月）
3. 二年生の前期（4～9月）
4. 二年生の後期（10～3月）
5. 三年生の前期（4～9月）
6. 三年生の後期（10～3月）
- (定時制) 7. 四年生の前期（4～9月）
8. 四年生の後期（10～3月）
9. その他（ ）

問18 進路について相談する相手（複数選択可）

1. 父親
2. 母親
3. 兄姉
4. 祖父母
5. その他の親戚
6. 担任の先生
7. 進路指導の先生
8. 担任・進路指導以外の先生
9. 小・中学校時代の先生
10. 塾・予備校の先生等
11. その他の大人
12. 先輩
13. 友人
14. 相談相手はいない
15. その他（ ）

問19 あなたの職業観（最も近いと思うものを1つ選択）

1. 収入さえあればよい
2. 楽しく働きたい
3. 自分の夢のために働きたい
4. 個人の生活と仕事を両立させたい
5. プライドを持てる仕事をしたい
6. 人から感謝される仕事をしたい
7. 出世したい
8. 社会に貢献したい

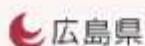
問20 広島で暮らし続けたいと考える若い皆さんに、どのような支援があればよいと思いますか。（自由記入）

【参考】現在、県が実施している支援策

- 県内大学の魅力向上、しごと相談窓口の設置（ひろしま若者しごと館）
- 県内企業との出会いの場の確保（就職ガイダンス、求人求職データベース「ひろしまジョブサイト」）
- 東京・大阪でのUターン就職相談、首都圏や大圏圏など大都市圏での合同企業説明会（学生向け）等

ご協力ありがとうございました。

2 大学生調査



「若者の定住志向に関するアンケート調査」への御協力をお願い

～学生の皆さんへ～

いま、日本の将来人口の減少が、大きな社会問題となっています。

広島県では、進学や就職・転職などに伴う人口流出が、毎年4,000人程で推移しており、特に、若い世代の転出超過が深刻な課題となっていることから、県では、将来にわたって広島で暮らしたいと考える皆さんの希望が叶うよう、県内大学の魅力向上や働く場の確保など、様々な対策を進めています。

今後の対策が、皆さんの声を反映したより良いものとなるよう、若い皆さんの進学や就職に対する考えなどを、お聞かせください。

平成27年4月

広島県総務局経営企画チーム

調査票の記入について

- この調査は、特に断りがないかぎり、平成27年4月1日現在でお答えください。
- お答えは設問ごとに、○印で番号を囲むように、お付けください。
なお、(1つ選択)、(複数選択可)など、それぞれ指定されていますので、御注意ください。
- 「その他」に当てはまる場合は、その番号を○で囲むとともに、()内に具体的に記入ください。
- 設問中にある、地域区分は以下のとおりです。

「北海道圏」：北海道
「東北圏」：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
「北関東圏」：茨城県、栃木県、群馬県
「東京圏」：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
「中部・北陸圏」：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
「東海圏」：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
「大阪圏」：京都府、大阪府、兵庫県
「その他の関西圏」：滋賀県、奈良県、和歌山県
「中国圏」：徳島県、島根県、岡山県、広島県、山口県
「四国圏」：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
「九州圏」：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

■お問い合わせ先

広島県総務局経営企画チーム 地方創生担当

広島県広島市中区基町10-52

TEL 082-513-2396

《あなた自身のことについて、ご記入ください》

- 問1 学校名
[] 大学、 [] 短期大学
- 問2 性別
1. 男性 2. 女性
- 問3 年齢
[] 歳
- 問4 出身地
[] (都・道・府・県) [] (市・町・村)
- 問5 現住地
[] (都・道・府・県) [] (市・町・村)
- 問6 ①理系・文系
1. 理系 2. 文系
②学年
1. 二年生 2. 三年生 3. 四年生 4. 大学院生

《大学進学時の希望について、当時を振り返ってお答えください》

- 問7 出身県への進学希望の有無（どちらかを選択）
1. 出身県への進学を希望 2. 出身県以外への進学を希望 **2を選択した方は問9へ**
- 問8 出身県への進学を希望されていた方に、お聞きします。
「出身県」を希望していた理由（複数選択可）
1. 進学したい学校が地元にあったから 2. 地元を離れる必要性を感じなかったから
3. 友達や知り合いと離れたいなかったから 4. 家族と離れたいなかったから
5. 下宿や仕送りなどでお金がかかるから 6. 地元を離れて一人暮らしができるか不安だったから
7. いずれは地元で就職したいと思っていたから 8. 親から地元に残るように言われていたから
9. その他（ ） **問11へ**
- 問9 出身県以外への進学を希望されていた方に、お聞きします。
進学を希望していた地域（最も希望していた地域を1つ選択）
1. 広島県内 2. 広島県以外の中国圏 3. 北海道圏 4. 東北圏 5. 北関東圏
6. 東京圏 7. 中部・北陸圏 8. 東海圏 9. 大阪圏 10. その他の関西圏
11. 四国圏 12. 九州圏 13. その他（ ）
- 問10 「出身県以外」を希望していた理由（複数選択可）
1. 希望する学部や学科が出身県内になかったから 2. 進学したい学校が出身県内になかったから
3. 地元を離れて一人暮らしがしたかったから 4. 住んでみたい地域があったから
5. 都会で暮らしてみたかったから 6. 就職に有利だと考えたから
7. その他（ ）

《全ての方に、お聞きします》

- 問11 併願していた他大学の所在地域（複数選択可）
1. 広島県内 2. 広島県以外の中国圏 3. 北海道圏 4. 東北圏 5. 北関東圏
6. 東京圏 7. 中部・北陸圏 8. 東海圏 9. 大阪圏 10. その他の関西圏
11. 四国圏 12. 九州圏 13. その他（ ）

問12 志望校を検討する際に重視したこと（最大5つまで選択可）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 学びたい学科、学部があること | 2. 校風や雰囲気が良いこと |
| 3. 就職に有利なこと | 4. 自宅から通えること |
| 5. 他大学との交流など学生生活が楽しめること | 6. 資格取得に有利であること |
| 7. 自分の学力に適していること | 8. 教育方針・カリキュラムが魅力的であること |
| 9. 学習設備や環境が整っていること | 10. 伝統や実績があること |
| 11. キャンパスがきれいであること | 12. 入試方法が自分に合っていること |
| 13. 専門分野を深く学べること | 14. 交通の便が良いこと |
| 15. 有名な学校であること | 16. 学費が高くないこと |
| 17. クラブ・サークル活動が盛んであること | 18. 周囲の人からの評判が良いこと |
| 19. 教育内容のレベルが高いこと | 20. 国際的なセンスが身につくこと |
| 21. 学生の学力が高いこと | 22. 学生の面倒見が良い学校であること |
| 23. 教授・講師陣が魅力的であること | 24. 先輩・卒業生が魅力的であること |
| 25. 寮や奨学金が充実していること | 26. 学校の規模が大きいこと |
| 27. 大学のある地域が魅力的であること | |
| 28. その他（ | ） |

＜全ての方に、卒業後の就職希望を、お聞きします＞

問13 就職を希望する地域（最も希望する地域を1つ選択）

1. 広島県内 2. 広島県以外の中国圏 3. 北海道圏 4. 東北圏 5. 北関東圏
6. 東京圏 7. 中部・北陸圏 8. 東海圏 9. 大阪圏 10. その他の関西圏
11. 四国圏 12. 九州圏 13. その他（ ） 2～13を選択した方は問15へ

問14 「広島県内」への就職を希望する方にお聞きします。

広島県内を希望する理由（複数選択可）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 就職したい企業が県内にあるから | 2. 広島県から離れる必要性を感じないから |
| 3. 友達や知り合いの近くに居たいから | 4. 家族との同居のため |
| 5. 地元を離れて一人暮らしができるか不安だから | 6. 親から地元に残るよう言われているから |
| 7. 住んでみたい地域があるから | 8. 親元を離れて自立したいから |
| 9. 大学がある地域の方が就職に有利だから | |
| 10. その他（ | ） 問17へ |

問15 「広島県外」への就職を希望する方にお聞きします。

広島県外を希望する理由（複数選択可）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 就職したい業種や職種が県内にはないから | 2. 就職したい企業が県内にはないから |
| 3. 友達や知り合いの近くに居たいから | 4. 家族との同居のため |
| 5. 地元を離れて一人暮らしをしたいから | 6. 親から地元に残るよう言われているから |
| 7. 住んでみたい地域があるから | 8. 親元を離れて自立したいから |
| 9. 広島県内より賃金などの待遇が良いから | 10. 都会に住みたいから |
| 11. その他（ | ） 2～11を選択した方は問17へ |

問16 問15で「1. 就職したい業種や職種が県内にはないから」を選んだ方に、お聞きします。

どのような業種や職種を希望されていますか。（自由記入）

— 裏面へ続く —

問 17 全ての方にお聞きします。

就職先を検討する際に重視すること（複数選択可）

1. 安定していること
2. これから伸びそうなこと
3. 給料が良いこと
4. 自分のやりたい仕事（職種）ができること
5. 有名であること
6. 休日、休暇の多いこと
7. 勤務制度、住宅など福利厚生が良いこと
8. 転勤がないこと
9. 海外で活躍できそうなこと
10. いろいろな職種を経験できること
11. 自分の能力・専門性を生かせること
12. 学歴・男女差別がないこと
13. 若手が活躍できること
14. 事業を他分野に拡大していること
15. 働きがいがあること
16. 志望業種であること
17. 親しみがあること
18. 社風が良いこと
19. 一生続けられそうであること
20. 研修制度がしっかりしていること
21. その他（ ）

問 18 就職先の検討開始時期（最も近いと思うものを1つ選択）

1. 一年生
2. 二年生
3. 三年生-4～6月頃
4. 三年生-7～9月頃
5. 三年生-10～12月頃
6. 三年生-1～3月頃
7. 四年生-4～6月頃
8. 四年生-7～9月頃
9. 四年生-10～12月頃
10. 四年生-1～3月頃
11. 大学院在学中時
12. その他（ ）

問 19 就職先について相談する相手（複数選択可）

1. 父親
2. 母親
3. 兄弟
4. 祖父母
5. その他の親戚
6. 指導教官
7. 指導教官以外の教官
8. 学内のキャリアセンター
9. 小中高校時代の先生
10. その他の大人
11. 先輩
12. 友人
13. 相談相手はいない
14. その他（ ）

問 20 あなたの職業観（最も近いと思うものを1つ選択）

1. 収入さえあればよい
2. 楽しく働きたい
3. 自分の夢のために働きたい
4. 個人や家庭生活と仕事を両立させたい
5. プライドの持てる仕事がしたい
6. 人から感謝される仕事をしたい
7. 出世したい
8. 社会に貢献したい

問 21 学生の皆さんが、広島に魅力を感じる場所はどこですか。（自由記入）

問 22 広島で暮らし続けたいと考える若い皆さんに、どのような支援があればよいと思いますか。（自由記入）

【参考】現在、県が実施している支援策

県内大学の魅力向上、しごと相談窓口の設置（ひろしま若者しごと館）、
県内企業との出会いの場の確保（就職ガイダンス、求人求職データベース『ひろしまジョブサイト』）、
東京・大阪でのUターン就職相談、首都圏や大阪圏など大都市圏での合同企業説明会（学生向け）等

ご協力ありがとうございました。

3 県出身者調査



広島県

「若者の定住志向に関するアンケート調査」への御協力をお願い

～本県出身の皆様へ～

いま、日本の将来人口の減少が、大きな社会問題となっております。

広島県では、進学や県外への就職・転勤などに伴う人口の減少が、近年、4,000人程で推移しており、特に、若い世代の転出超過が深刻な課題となっている一方で、首都圏等の若い世代の地方志向が近年、高まっています。こうした中、本県としても、広島で暮らしたいと考える皆さんの希望が叶うよう、働く場の確保やリターン希望者への情報提供など、様々な対策を進めているところです。

つきましては、今後の本県の対策が、若い世代の御意見を反映したより良いものとなるよう、定住や移住等に関するお考えなどを、本アンケートでお聞かせいただきますよう、御協力をお願いいたします。

平成27年4月

広島県総務局経営企画チーム

調査票の記入について

- この調査は、特に断りがないかぎり、平成27年4月1日現在でお答えください。
- お答えは設問ごとに、○印で番号を囲むように、お付けください。
なお、「1つ選択」、「複数選択可」など、それぞれ指定されていますので、御注意ください。
- 「その他」に当てはまる場合は、その番号を○で囲むとともに、()内に具体的にご記入ください。
- 設問中にある、地域区分は以下のとおりです。

「北海道圏」：北海道
「東北圏」：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
「北関東圏」：茨城県、栃木県、群馬県
「東京圏」：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
「中部・北陸圏」：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
「東海圏」：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
「大坂圏」：京都府、大阪府、兵庫県
「その他の関西圏」：滋賀県、奈良県、和歌山県
「中国圏」：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
「四国圏」：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
「九州圏」：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

■お問い合わせ先

広島県総務局経営企画チーム 地方創生担当

広島県広島市中区基町10-52

TEL 082-513-2396

＜あなた自身のことについて、ご記入ください。＞

問1 性別

1. 男性 2. 女性

問2 年齢

 歳

問3 出身地

広島県 (市・町・村)

問4 現住地

(郡・道・府・県) (市、区、町・村)

問5 職業

1. 自営業 2. 常勤雇用者(正社員、公務員など) 3. パート・アルバイト
4. 契約社員・派遣社員 5. 学生 6. 無職 7. 専業主婦 8. その他

問6 既婚・未婚

1. 結婚している(既婚) 2. 結婚していない(未婚)

問7 家族構成

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯(自分と親、自分と子どもなど)
4. 三世帯(自分と親と子どもなど) 5. その他

＜首都圏で暮らしたきっかけを、お聞きします＞

問8 首都圏で暮らしたきっかけ(最もあてはまるものを1つ選択)

1. 進学 2. 就職 3. 結婚 4. 親の転勤等 5. 人事異動
6. 子育て 7. 親族の介護
8. その他()

「進学」を選択された方は問9へ、「就職」を選択された方は問12へ、その他の方は問16へ、お進みください

＜進学をきっかけに暮らし始めた方にお聞きします＞

問9 当時、進学を希望していた地域(最も希望していた地域を1つ選択)

1. 広島県内 2. 広島県以外の中国圏 3. 北海道圏 4. 東北圏 5. 北関東圏
6. 東京圏 7. 中部・北陸圏 8. 東海圏 9. 大阪圏 10. その他の関西圏
11. 四国圏 12. 九州圏 13. その他() 2～13を選択した方は問11へ

問10 「広島県内」への進学を希望していた方にお聞きします。

広島県内が希望だったが、結果として県外へ進学した理由(複数選択可)

1. 希望する学部や学科が県内になかったから 2. 進学したい学校が県内になかったから
3. 自分の学力に見合う学校が県内になかったから 4. 志望校に合格することができなかったから
5. 住んでみたい地域があったから 6. 県外で暮らしてみたかったから
7. 親の転勤など家族の事情 8. 就職に有利だと考えたから
9. その他()

問11 志望校を検討する際に重視したこと（最大5つまで選択可）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 学びたい学科、学部があること | 2. 校風や雰囲気が良いこと |
| 3. 就職に有利なこと | 4. 自宅から通えること |
| 5. 他大学との交流など学生生活が楽しめること | 6. 資格取得に有利であること |
| 7. 自分の学力に逼っていること | 8. 教育方針・カリキュラムが魅力的であること |
| 9. 学習設備や環境が整っていること | 10. 伝統や実績があること |
| 11. キャンパスがきれいであること | 12. 入試方法が自分に合っていること |
| 13. 専門分野を深く学べること | 14. 交通の便が良いこと |
| 15. 有名な学校であること | 16. 学費が高くないこと |
| 17. クラブ・サークル活動が盛んであること | 18. 周囲の人からの評判が良いこと |
| 19. 教育内容のレベルが高いこと | 20. 国際的なセンスが身につくこと |
| 21. 学生の学力が高いこと | 22. 学生の面倒見が良い学校であること |
| 23. 教授・講師陣が魅力的であること | 24. 先輩・卒業生が魅力的であること |
| 25. 寮や奨学金が充実していること | 26. 学校の規模が大きいこと |
| 27. 大学のある地域が魅力的であること | |
| 28. その他（ | ） |

問16へ、お進みください

＜就職をきっかけに暮らし始めた方にお聞きます＞

問12 当時、就職を希望していた地域（最も希望していた地域を1つ選択）

- | | | | | |
|---------|--------------|----------|--------|-----------------|
| 1. 広島県内 | 2. 広島県以外の中国圏 | 3. 北海道圏 | 4. 東北圏 | 5. 北関東圏 |
| 6. 東京圏 | 7. 中部・北陸圏 | 8. 東海圏 | 9. 大阪圏 | 10. その他の関西圏 |
| 11. 四国圏 | 12. 九州圏 | 13. その他（ | ） | 2～13を選択した方は問15へ |

問13 「広島県内」への就職を希望していた方にお伺いします。

広島県内が希望だったが、結果として県外へ就職した理由（複数選択可）

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 就職したい業種や職種が県内になかったから | 2. 県内企業の情報が十分でなかったから |
| 3. 就職したい企業が県内になかったから | 4. 友達や知り合いの近くに居なかったから |
| 5. 家族との同居のため | 6. 地元を離れて一人暮らしをしたかったから |
| 7. 親元を離れて自立したかったから | 8. 広島県内より賃金などの待遇が良かったから |
| 9. 都会に住みたかったから | 10. 就職した企業の配属が県外だったから |
| 11. 首都圏等の企業による採用活動が積極的だったから | |
| 12. その他（ | ） |

問14 問13で「1.就職したい業種や職種が県内にないから」を選んだ方、にお聞きます。

どのような業種や職種を希望されていましたか。（自由記入）

問15 就職先を検討した際に重視したこと（複数選択可）

- | | | | |
|------------------------|----------------------|---------------------|-------------|
| 1. 安定していること | 2. これから伸びそうなこと | 3. 給料が良いこと | |
| 4. 自分のやりたい仕事（職種）ができること | 5. 有名であること | 6. 休日、休暇の多いこと | |
| 7. 勤務制度、住宅など福利厚生が良いこと | 8. 転籍がないこと | 9. 海外で活躍できそうなこと | |
| 10. いろいろな職種を経験できること | 11. 自分の能力・専門性を生かせること | | |
| 12. 学歴・男女差別がないこと | 13. 若手が活躍できること | 14. 事業を他分野に拡大していること | |
| 15. 働きがいがあること | 16. 志望業種であること | 17. 親しみがあること | 18. 社風が良いこと |
| 19. 一生続けられそうであること | 20. 研修制度がしっかりしていること | | |
| 21. その他（ | | | ） |

— 裏面へ続く —

問 23 問 21 で「1. 移住に関する情報が十分でない」と答えた方に、お聞きします。

どのような情報が不十分だとお考えですか。(複数選択可)

1. 働く場に関する情報
2. 住宅等の住まいの状況
3. 医療に関する情報
4. 介護・福祉施設に関する情報
5. 教育環境に関する情報
6. その他()

問 24 へ、お進みください

問 23 広島県への移住を検討したいと思わない方に、お聞きします。

移住する予定がない理由(複数選択可)

1. 働き口が見当たらないと思うから
2. やりがいのある仕事がないと思うから
3. 給与が下がる可能性があるから
4. 住宅ローンが残っているなど住居を変えられないから
5. 日常生活の利便性が良くなさそうだから
6. 公共交通の利便性が良くなさそうだから
7. 医療・福祉が不安だから
8. 家族の生活環境を変えるわけにはいかないから
9. 教育環境が不安だから
10. 住居環境が不安だから
11. 移住先の人間関係が不安だから
12. 今の人付き合いがなくなりそうだから
13. 今の生活に不満がないから
14. 他の地域への移住に興味があるから
15. その他()

＜全ての方に、お聞きします＞

問 24 広島県へのU・Iターン移住を考える方に、行政からどのような支援があれば良いと思いますか。

【参考】現在、県が実施している支援策

(自由記入)

首都圏での移住相談窓口の設置 (ふるさと回帰支援センター内 千代田区有楽町)

県内市町と連携した移住案内イベントの開催など

東京・大阪でのU・Iターン就職相談、首都圏や大圏圏など大都市圏での合同企業説明会(学生向け)等

ご協力ありがとうございました